

1	事業名	農業経営基盤強化促進対策事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(1) 横芝光町の基幹産業である農業の強化				
		項目	① 地域実態に即した農業の担い手の経営改善支援や育成と確保に向けた取組の強化				
		掲載ページ	22 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	横芝光町の地域実態に即した農業の担い手の明確化及び共有化を推進し、担い手の経営改善支援に取り組むとともに、担い手の育成・確保に向けた取組を強化し、望ましい農業構造の確立等を図る。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	農業者の経営改善、強化に関する支援活動 26,384円 ・農業経営改善計画等の更新を迎える農業者や、新たに認定農業者を希望する者などに対し、農業経営改善計画書の作成支援を実施した。 33件（更新27件、新規6件） ・農業経営基盤強化に係るパンフレットを認定農業者の更新時などに配布した。（173件） ・農業経営基盤強化に係る参考図書購入				
		R3年度実績	農業者の経営改善、強化に関する支援活動 26,850円 ・農業経営改善計画の更新を迎える農業者や、新たに認定農業者を希望する者などに対し、農業経営改善計画書の作成支援を実施した。 30件（更新25件、新規5件） ・農業経営基盤強化に係るパンフレットを認定農業者の更新時などに配布した。（169件） ・農業経営基盤強化に係る参考図書購入				
		R4年度実績	農業者の経営改善、強化に関する支援活動 37,904円 ・農業経営改善計画の更新を迎える農業者や、新たに認定農業者を希望する者などに対し、農業経営改善計画書の作成支援を実施した。 19件（更新17件、新規2件） ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布（133件） ・農業経営基盤強化に係る参考図書購入				
		R5年度計画	農業者の経営改善、強化に関する支援活動 ・認定農業者等農業経営改善計画作成の支援 ・研修会の開催 ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布 ・農業経営基盤強化に係る参考図書購入				
		R6年度計画	農業者の経営改善、強化に関する支援活動 ・認定農業者等農業経営改善計画作成の支援 ・研修会の開催 ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布 ・農業経営基盤強化に係る参考図書購入				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	29	0	26	0	
		3	58	0	27	0	
		4	58	0	38	19	基金
		5	64	32			基金
		6	58				
計	267	32	91	19			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	大規模農家数(認定農業者の法人)【5経営体の増加】	目標2	新規就農者【25人増加】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	1	0	5	3	
		3	1	0	5	1	
		4	1	1	5	2	
		5	1		5		
		6	1		5		
		計	5 経営体	1 経営体	25 人	6 人	
	進捗率	20.00 %	進捗率	24.00 %			
	確認方法	法人登記、認定農業者の認定証		就農の実態調査			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		2	外部有識者からの意見	・町独自の施策の検討 ・農福連携など最良事例を示して検討を進める	町独自の施策及び農福連携については、調査研究していく。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
		3	今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			計画変更の必要性	無	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
		4	外部有識者からの意見	・空港機能強化を踏まえた取組み、移住等他施策と連携した取組み、DXを活用した取組みの検討 ・認定農業者への充実した情報提供	担い手の高齢化といった農業構造の課題解決に向け、インフラの整備効果や、移住等の施策を踏まえ、情報化の推進を図りつつ、担い手の確保と育成を図っていく。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
		5	今後の方針の理由	意見を踏まえ、望ましい農業構造の確立に向けた取組みを検討する	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			計画変更の必要性	無	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
		6	外部有識者からの意見	・創生委員を交えた話し合いの場の設定が必要	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
		7	今後の方針の理由	意見を踏まえ、話し合いの上で、K P I 計画の達成と、基本目標に係る数値目標につながるような取組みを検討をする	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			計画変更の必要性	無	
			事業の評価		
8	外部有識者からの意見				
	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
9	備考	9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
			評価年月日		
		事業の評価			
		外部有識者からの意見			
9	備考	9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日		
		今後の方針			
		今後の方針の理由			
9	備考	9	計画変更の必要性		

1	事業名	経営・法人化支援事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(1) 横芝光町の基幹産業である農業の強化				
		項目	② 農業経営体に対する支援				
		掲載ページ	22 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	農業経営の法人化を進め、専門家による相談・指導体制の整備により経営力のある担い手を育成する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 山武農業事務所や新規就農相談センターと連携し、新規参入者に対する就農相談活動を行うと共に、農業経営体育成セミナーへの参加を促した。しかし、研修事業については新型コロナウイルスの影響により一堂に会して開催することが難しく、資料等を送付し対応した。 集落営農組織など法人化に対する意向のある経営体に対し、専門家と協力し支援を行った。 				
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 山武農業事務所や新規就農相談センターと連携し、新規参入者に対する就農相談活動を行うと共に、農業経営体育成セミナーへの参加を促した。研修会8回実施。(1名参加) 集落営農組織など法人化に対する意向のある経営体に対し、専門家と協力し支援を行った。(相談2件、法人化1件：法人としての認定農業者承認は令和4年度を予定) 				
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営体育成セミナーへの参加促進 研修会9回実施 (1名参加) 千葉県農業会議と連携した法人化に係る相談・支援活動 (前年度に法人化の相談のあった案件の認定農業者承認1件) 山武農業事務所や新規就農相談センターと連携した就農相談活動 (親元就農2件) 				
		R5年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営体育成セミナーへの参加促進 千葉県農業会議と連携した法人化に係る相談・支援活動 山武農業事務所や新規就農相談センターと連携した就農相談活動 				
		R6年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営体育成セミナーへの参加促進 千葉県農業会議と連携した法人化に係る相談・支援活動 山武農業事務所や新規就農相談センターと連携した就農相談活動 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5	0				
		6	0				
計	0		0				
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	大規模農家数(認定農業者の法人)【5経営体の増加】	目標2	新規就農者【25人増加】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	1	0	5	3	
		3	1	0	5	1	
		4	1	1	5	2	
		5	1		5		
		6	1		5		
		計	5 経営体	1 経営体	25 人	6 人	
			進捗率	20.00 %	進捗率	24.00 %	
確認方法	法人登記、認定農業者の認定証		就農の実態調査				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの 意見	特になし			
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
			計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない		
		外部有識者からの 意見	・法人化後の支援や雇用に関する支援の検討			
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	国及び県の助成制度に関する情報提供を行うとともに、担い手育成に係る助成要望のあったものは、町から国・県へ事業要望を行い、町も次年度において関連事業として担い手支援を行うとした。	
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、事業内容を再検討した上で、K P I 計画の達成と、基本目標に係る数値目標につながるよう積極的な取組を検討をする		
			計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない		
		外部有識者からの 意見	・法人化後や新規就業後の町独自支援の検討			
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和5年8月17日				
	今後の方針	事業内容の見直し(改善)				
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、事業内容を再検討した上で、K P I 計画の達成と、基本目標に係る数値目標につながるよう積極的な取組を検討をする				
	計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
外部有識者からの 意見						
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
	計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	企業誘致促進事業	担当課	R2産業課 R3～企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(2) 町内の雇用や起業の促進				
		項目	① 新たな企業誘致				
		掲載ページ	23 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、横芝光町への進出や本社機能の移転を希望する国内外の企業に対し、積極的なアプローチと情報収集を行い、誘致に向けた総合的な支援活動を行う。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	横芝光町企業誘致用地等登録制度を創設し、遊休地を3件登録した。千葉県企業立地課、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動を展開した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、企業訪問は見送った。				
		R3年度実績	横芝光町企業誘致用地等登録制度の目標登録件数は常時5件以上掲載であったが、4件の掲載に留まった。また、立地申込みが1件あったが不調となった。前年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問を控えたが、オンラインを含め30社と面会した。				
		R4年度実績	横芝光町企業誘致用地等登録制度の年度末登録件数は6件。新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、オンラインを含め21社と面会した。企業立地促進条例を改正し、対象業種などを拡大した。				
		R5年度計画	横芝光町企業誘致用地等登録制度を活用した企業誘致活動を実施する。千葉県企業立地課、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動を展開する。改正した企業立地促進条例をPRする。				
		R6年度計画	横芝光町企業誘致用地等登録制度を活用した企業誘致活動を実施する。千葉県企業立地課、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動を展開する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	349	175 基金	158	79 基金	
		3	482	241 基金	303	162 基金	
		4	342	171 基金	240	115 基金	
		5	473	236 基金			
		6	500	250 基金			
計	2,146	1,073	701	356			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	企業誘致【2社】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2		1			
		3		0			
		4	1	0			
		5					
		6	1				
		計	2 社	1 社	0	0	
	進捗率	50.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・要件見直しによる農業生産法人の誘致検討 ・物流企業へのPRを検討 ・コンサルを通じたPRを検討	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、実施方法を整理し、今後も計画どおり進める			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	雇用促進事業			担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する					
		具体的な施策	(2) 町内の雇用や起業の促進					
		項目	② しごとの情報提供					
		掲載ページ	23 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	町内における求人と求職のマッチングや各種セミナー等を通じ、町内雇用の促進を図る。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク千葉出張相談を10回開催し就職支援をした。 ・商工会の求人情報紙の作成、発行9回を支援した。 ・雇用管理協議会主催合同就職相談・面接会の開催を支援した。 〈主な支出〉・求人検索用パソコン賃借料 56,760円 ・消耗品費 19,639円					
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク千葉出張相談を12回開催し就職支援をした。 ・商工会の求人情報紙の作成、発行10回を支援した。 ・雇用管理協議会主催企業説明会の開催を支援した。 〈主な支出〉・求人検索用パソコン賃借料 32,923円 ・消耗品費 8,800円					
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク千葉出張相談を12回開催し就職支援をした。 ・商工会の求人情報誌の作成、発行12回を支援した。 ・雇用管理協議会事業への支援を行った。 〈主な支出〉・求人検索用パソコン賃借料 9,240円 ・消耗品費 3,190円 ・オンライン相談対応カメラ内臓パソコン備品購入 827,200円					
		R5年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村、地元企業と連携した各種雇用セミナーの開催を通して、幅広い年齢層への就職支援を実施する。 ・商工団体、町内企業と連携して町内求人情報を共有し、町内雇用の促進を図る。 					
		R6年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村、地元企業と連携した各種雇用セミナーの開催を通して、幅広い年齢層への就職支援を実施する。 ・商工団体、町内企業と連携して町内求人情報を共有し、町内雇用の促進を図る。 					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	77	38	基金	77	38	基金
		3	42	21	基金	42	21	基金
		4	21	10	基金	840	834	国・基金
		5	5	2	基金			
		6	100	50	基金			
		計	245	121		959	893	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	新規雇用【30人/年】		目標2		
			計画	実績		計画	実績	
		2	10	15				
		3	10	12				
		4	15	23				
		5	20					
		6	30					
		計	85 人	50 人		0	0	
			進捗率	58.82 %		進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法	関係団体と連携し採用決定者数等の情報を共有する。					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	特になし		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	/	
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・各団体が実施している求人方法を整理して把握し、農業団体に係る雇用促進方法の検討 ・取組みの目的整理（雇う側と雇われる側）		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		農業関係者による求人情報の掲載希望や農業関連の求職を含め、雇用支援の検討を行った。
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組目的と実施方法を整理し、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・町独自の農業者向け求人情報紙の検討		
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		/
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
	外部有識者からの意見					
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	雇用促進事業（雇用創業支援事業）			担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する					
		具体的な施策	(2) 町内の雇用や起業の促進					
		項目	③ 創業支援事業計画の推進					
		掲載ページ	23 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	起業や第二次創業を支援するため、産業競争力強化法（平成25年法律第98号）における創業支援等事業計画に基づき、横芝光町商工会と連携し地元金融機関など支援機関の協力のもと地域密着型企業の立ち上げを支援する。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	町内に創業を予定している者を対象に全4回の創業のための経営、財務、人材育成、販売方法などの基本的な知識を学ぶ創業塾を実施した。 ・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） ・創業支援者数 21名 ・創業者数 5名					
		R3年度実績	町内に創業を予定している者を対象に全4回の創業のための経営、財務、人材育成、販売方法などの基本的な知識を学ぶ創業塾を実施した。 ・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） ・創業支援者数 17名 ・創業者数 5名					
		R4年度実績	町内に創業を予定している者を対象に全4回の創業のための経営、財務、人材育成、販売方法などの基本的な知識を学ぶ創業塾を実施した。 ・創業塾の開催 1回（1コース×4講座） ・創業支援者数 5名 ・創業者数 1名					
		R5年度計画	・創業塾の開催 1回（1コース×4講座） ・創業支援者数 10名 ・創業者数 5名 ・産業競争力強化法（平成25年法律第98号）における創業支援等事業計画の終了年度					
		R6年度計画	・産業競争力強化法（平成25年法律第98号）における創業支援等事業計画の継続検討により計画修正する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	500	250	基金	500	250	基金
		3	500	250	基金	500	250	基金
		4	500	250	基金	500	325	基金・納税
		5	500	250	基金			
		6	500	250	基金			
計	2,500	1,250		1500	825			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	創業塾の開催【8回/年】	目標2	創業者数【5件/年】		
			計画	実績	計画	実績		
		2	8	8	5	5		
		3	8	8	5	5		
		4	4	4	5	1		
		5	4		5			
		6	8		5			
		計	32 回	20 回	25 件	11 件		
	進捗率	62.50 %	進捗率	44.00 %				
	確認方法	創業塾開催の実績により把握する。			事業主体の商工会と連携を図り、受講状況・創業状況の把握をする。			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・移住と連携した実施方法の継続	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	観光企業誘致及び雇用促進事業		担当課	R2産業課 R3～企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(3) 遊休公共用地の有効活用による企業誘致				
		項目	① 「こどもの国」跡地の有効活用による観光企業誘致				
		掲載ページ	23 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	地域経済の活性化と雇用促進を図るため、「こどもの国」跡地の有効活用による観光企業への積極的なアプローチ・誘導活動を行う。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	千葉県、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、成果は得られなかった。				
		R3年度実績	千葉県、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動として、観光関連企業3社にこどもの国跡地を紹介し、協議を行った。				
		R4年度実績	千葉県と連携した企業誘致活動を進め、トップセールスによる営業活動を展開した。こどもの国跡地周辺施設の将来性について、関係機関と意見交換した。				
		R5年度計画	千葉県と連携した企業誘致活動を進める。こどもの国跡地、マリニピアくりやまがわ、栗山川漁港と連携した土地活用を検討する。				
		R6年度計画	千葉県と連携した企業誘致活動を進める。こどもの国跡地、マリニピアくりやまがわ、栗山川漁港と連携した土地活用を検討する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5	0				
		6	0				
計	0	0	0	0			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	観光企業の誘致【1社】	目標2	新規町内雇用【10人】	
			計画	実績	計画	実績	
		2		0		0	
		3		0		0	
		4		0		0	
		5					
		6	1		10		
		計	1 社	0 社	10 人	0 人	
	進捗率	0.00 %	進捗率	0.00 %			
	確認方法						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・周辺施設との相乗効果が出るよう検討	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	移住定住サポートセンター事業		担当課	企画空港課					
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる							
		具体的な施策	(1) 町外からの移住受入れの強化							
		項目	① 移住・定住に係る受入体制の整備と情報発信							
		掲載ページ	25 頁	重点への位置づけ	—					
3	事業概要	町内への移住・定住を促進するため、移住定住サポートサイト（ヨリドコロ.jp）による情報発信の充実、移住定住サポートセンターによるワンストップ相談窓口など、受入体制の強化を図る。 また、移住・定住者の確保に向けた新規居住者への支援についても強化する。								
4	事業年度	令和2年度～令和6年度								
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	移住定住を促進するため、横芝光町移住・定住推進協議会を2回開催した。（うち、1回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、書面開催） また、横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」内設置の移住定住サポートセンターにおいて、オンライン等での移住支援業務を継続して実施した。 ・横芝光町移住・定住推進協議会の開催（1回／報酬21,600円） ・移住定住サポートセンターの設置（委託料1,869,538円）							
		R3年度実績	移住定住サポートサイト「ヨリドコロ.jp」について、移住者向け情報をトップ画面に配置し、必要な情報によりアクセスしやすいサイトへ一部リニューアルを実施した。 また、コロナ禍においても実施できる事業を検討し、移住定住サポートセンターと連携して、千葉県と共同で移住イベントへの出展（リアルイベント1回、オンラインイベント1回）や、ミキハウスが発行する子育て層向け情報誌「ハッピーノート」（発行部数：全国16万部）への記事掲載を行い情報発信した。 ・横芝光町移住・定住推進協議会の書面開催（1回） ・移住定住サポートセンター（委託料：2,516,402円） ・10/2 JOIN移住・交流&地域おこしフェア2021出展（場所：新宿住友ビル三角広場） ・11/13 千葉県オンライン移住相談会出展（運営：株式会社第一プログレスTURNS） ・情報誌「ハッピーノート」2022春号（3/20発行）記事掲載、会員向けメルマガ配信1回（約6万通）、WEBサイト「ハッピーノート.com」記事掲載（6カ月）							
		R4年度実績	コロナ禍においても実施できる事業を検討し、家博（東金市）での移住相談会へ観光まちづくり大使のもぐもぐピーナッツさんと一緒に参加し、集客・周知を行った。また、ノベルティ（ウェットティッシュ）を作成し、千葉県と共同で移住イベントへの出展（2回）や梅まつりにて配布した。FacebookとInstagramでの情報発信を頻繁に行い、携帯サイト「ヨリドコロ.jp」のSNSアイコンの配置を変更し、簡潔にSNSへつながるように図った。 ・横芝光町移住・定住推進協議会の開催（1回／報酬32,400円） ・移住定住サポートセンターの設置（委託料1,996,577円） ・イベント／相談会への出展（5回）							
		R5年度計画	移住定住サポートセンターに移住関係業務を委託し5年が経過することから業務全般の検証、及び移住定住サポートサイト「ヨリドコロ.jp」のリニューアルの検討を行う。積極的な情報発信は継続して行う。 ・横芝光町移住・定住推進協議会の開催（2回／年） ・移住定住サポートセンターの設置 ・移住相談会等への出展（4回） ・旧横芝中学校プール跡地プロポーザル審査会の実施							
		R6年度計画	これまでの取り組み状況を検証し、施策の見直しと今後の検討を行う。 ・横芝光町移住・定住推進協議会の開催（2回／年） ・移住定住サポートセンターの設置 ・移住相談会への出展（4回）							
		6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)			
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源				
		2	2,936	1,468 基金	1,891	1,421 基金				
		3	2,907	1,453 基金	2,780	1,402 基金				
		4	2,431	1,215 基金	2,028	790 基金				
		5	2,613	1,244 基金						
		6	3,000	1,500 基金						
		計	13,887	6,880	6,699	3,613				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	サポートC利用移住者【50人/累計】		目標2	移住定住相談件数【500件/累計】			
			計画	実績		計画	実績			
		2	10	7		100	32			
		3	10	1		100	24			
		4	10	15		100	47			
		5	10			100				
		6	10			100				
		計	50 人	23 人		500 件	103 件			
				進捗率 46.00 %			進捗率 20.60 %			
		確認方法	移住定住サポートセンター実績報告書に基づく集計				移住定住サポートセンター実績報告書に基づく集計			
		年度	目標3	サポートサイトアクセス数【18,000件/年】		目標4				
計画	実績		計画	実績						
2	3,600	21,079								
3	7,200	20,148								
4	10,800	22,409								
5	14,400									
6	18,000									
計	54,000 件	63,636 件		0 人	0 人					
		進捗率 117.84 %			進捗率 #DIV/0! %					
確認方法	サイトアクセス数の確認									

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・ 移住相談窓口への到達方法の把握 ・ 移住定住サイトの運用改善	・ 移住定住サポートセンター勤務日誌に、窓口来訪のきっかけの記載欄を設け、移住相談窓口への到達方法の把握に努めている。 ・ 移住者が知りたい情報を取得しやすいサイト構成に改修し運用改善を図った。	
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		評価年月日	令和3年8月17日		
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)	・ 移住者が知りたい情報を取得しやすいサイト構成に改修し運用改善を図った。	
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
		外部有識者からの意見	・ 検索エンジンで抽出される工夫の検討 ・ 移住・定住希望高齢者向け支援の広報	・ サイトの設定の確認・SEO対策の把握に努めた。今後も最新のSEO情報を参考に、サイト及び投稿記事の見直ししていく。 ・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。	
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		評価年月日	令和4年8月17日		
		今後の方針	事業の継続	・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。	
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・ SNS登録者増加に向けノベルティ付与を検討 ・ 子育て支援情報発信の強化 ・ 移住先としての認知度向上	・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。	
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続	・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。			
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
外部有識者からの意見		・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。			
評価会議名称					
評価年月日					
今後の方針		・ 「移住定住に関するお知らせ」ページに医療・福祉の支援として、集団健(検)診と高齢者福祉の情報を追加。			
今後の方針の理由					
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	住宅取得奨励金交付事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる				
		具体的な施策	(1) 町外からの移住受入れの強化				
		項目	② 新築及び中古住宅取得者に奨励金を交付				
		掲載ページ	25 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	町の人口減少抑制、定住促進及び第2期町人口ビジョンにおける将来展望に掲げた目標人口を獲得するため、町内に住宅を取得する者に対して奨励金を交付する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	横芝光町住宅取得奨励金交付要綱（令和2年7月1日施行）を策定し、町ホームページ、まちナビ2、町広報誌及び家屋評価訪問時のチラシ配布で事業周知を行い、町内住宅取得者に対し奨励金を交付した。 【交付件数及び金額】：31件 16,300,000円 うち、新築 27件 8,100,000円、中古 4件 400,000円、 転入加算 10件 4,000,000円、子ども加算 23件 3,800,000円				
		R3年度実績	要綱に基づき、町内住宅取得者に対し奨励金を交付した。なお、要綱については、円滑な手続きに資することを目的に、戸籍の附票の写しを転入者からのみ提出いただく内容に改正を行った。また、町移住定住施策の参考とするため、町で住宅購入したことの理由を調査するアンケートを交付申請時に実施した。 【交付件数及び金額】：45件 25,900,000円 うち、新築 42件 12,600,000円、中古 3件 300,000円、 転入加算 20件 8,000,000円、子ども加算 29件 5,000,000円				
		R4年度実績	要綱に基づき、町内住宅取得者に対し奨励金を交付した。また、町移住定住施策の参考とするため、町で住宅購入したことの理由を調査するアンケートを交付申請時に実施した。 【交付件数及び金額】：52件 28,800,000円 うち、新築 47件 14,100,000円、中古 5件 500,000円、 転入加算 22件 8,800,000円、子ども加算 39件 5,400,000円				
		R5年度計画	要綱に基づき、町内住宅取得者に対し奨励金を交付する。なお、要綱については、移住定住施策を推進するために必要がある場合、適宜改正を検討する。また、町移住定住施策の参考とするため、町で住宅購入したことの理由を調査するアンケートを交付申請時に実施する。 ・獲得目標世帯数 118世帯/年（新築40世帯+中古11世帯+目標67世帯） ※税務課資料による住宅取得件数の過去3カ年平均値及び第2期町人口ビジョンに掲げる目標値による				
		R6年度計画	要綱に基づき、町内住宅取得者に対し奨励金を交付する。なお、要綱については、移住定住施策を推進するために必要がある場合、適宜改正を検討する。また、町移住定住施策の参考とするため、町で住宅購入したことの理由を調査するアンケートを交付申請時に実施する。 ・獲得目標世帯数 121世帯/年（新築40世帯+中古11世帯+目標70世帯） ※税務課資料による住宅取得件数の過去3カ年平均値及び第2期町人口ビジョンに掲げる目標値による				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	26,625	23,963 空港	16,300	14,670 空港	
		3	28,900	26,010 空港	25,900	23,310 空港	
		4	28,900	26,010 空港	28,800	25,920 空港	
		5	28,900	26,010 空港			
		6	28,900	0			
計	142,225	101,993	71,000	63,900			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	奨励金の交付件数【470件/累計】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	64	31			
		3	51	45			
		4	116	52			
		5	118				
		6	121				
		計	470 件	128 件	0 人	0 人	
	進捗率	27.23 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	交付件数					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	・賃貸者向け支援の検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・定住促進及び5年以上居住することを目的にしていることから、定期的に更新が必要となる賃貸物件に対しては、まだ検討が必要となる。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を参考とし、今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・Uターンと空き家活用による交付件数増加を検討	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	居住地拠点創出事業		担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる				
		具体的な施策	(1) 町外からの移住受入れの強化				
		項目	③ 居住地の創出				
		掲載ページ	25 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	<p>成田空港の更なる機能強化に伴い、空港関連施設の立地や就業者の増加が見込まれる中、既存市街地内の未利用地や市街地に隣接する土地を活用して居住地の創出を推進する。</p> <p>都市拠点（IC・役場周辺）など利便性の高い市街地に隣接する農地については、新たな居住地の確保に向けて、用途地域の指定等に必要環境整備を行う。</p>					
4	事業年度	令和4年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績					
		R4年度実績	<p>■西側宅地エリア（横芝地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 横芝小学校周辺では商業施設や住宅地などの宅地開発が進んでおり、周辺の排水施設に流入する雨量は年々増加していることから、2号幹線排水路周辺の町道等でたびたび浸水被害が発生している。このため、本エリア（周辺地区を含む）の排水対策調査を行った。 利便性の高い市街地に隣接する農地について、住宅開発の可能性を検討するための実態調査等を行い、事業の可能性を判断した。 <p>■東側宅地エリア（橋場・古屋地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い市街地に隣接する農地について、住宅開発の可能性を検討するための実態調査等を行ったものの年度内に完了できず、残る調査をR5年度に繰越した。 				
		R5年度計画	<p>■西側宅地エリア（横芝地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民説明会などまちづくり意識の機運醸成と、地権者の意向を踏まえた合意形成を進めるとともに、事業手法等の見直しを行い事業促進を図る。 <p>■東側宅地エリア（橋場・古屋地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 残る地権者意向等について引き続き調査を行い、年度内に事業可能性の有無を判断する。 				
		R6年度計画	<p>■西側宅地エリア（横芝地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 概略設計（現地測量含む）、農林協議資料案作成 <p>■東側宅地エリア（橋場・古屋地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地権者合意形成 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2					
		3					
		4	22,374		16,848	8,197	空港
		5	9,035				
		6	41,757				
		計	73,166	0	16,848	8,197	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	用途地域変更の実施【1件】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2					
		3					
		4					
		5					
		6	1				
		計	1 件	0 件	0 人	0 人	
			進捗率	0.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
	確認方法						

8	KPI評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		2	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
		3	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		4	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	町情報発信強化事業		担当課	総務課 (R4～総務課・企画空港課)	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる			
		具体的な施策	(2) 積極的な町の情報発信による認知度の向上			
		項目	① 居住地として選ばれる横芝光町			
		掲載ページ	26 頁	重点への位置づけ	●	
3	事業概要	各種SNSをはじめとするインターネット媒体を活用し、自然環境や子育て環境などの横芝光町の優れている点や横芝光町ならではの資源、環境のPR活動を行うほか、町の防災情報やイベント情報など町内の情報についても積極的に発信することで、町の情報発信の強化を図り、町内外から「選ばれるまち」を目指す。 また、町のポスター等の作成・編集にあたっては、デザインの一貫性・統一性への配慮や町ならではのキービジュアルの検討等により、他の市町村との差別化を目指す。				
4	事業年度	令和2年度～令和6年度				
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	町公式ホームページのリニューアルとともに付属アプリ「まちナビ2」の運用を開始した。それぞれ、リアルタイムでの情報提供できるよう迅速に対応してきた。また、広報紙での周知を行ったことや新型コロナウイルスに関連した情勢も影響してか、ホームページ・まちナビ2のアクセス数・利用者数は目標を超えることができた。 新たなSNSの構築については、移住・観光分野でインスタグラムによる情報発信を積極的に行っている関連組織があり、連携して情報発信を行えるよう準備を進めている。Twitterは掲載回数が少なかったが、今後の必要性も含め検討する。			
		R3年度実績	町公式ホームページ・付属アプリ「まちナビ2」の運用に際し、各担当課に対しホームページに未掲載になっている施策や事業、取組みを掲載できるよう進めた。また、町ホームページの効果的な情報発信や表現方法について職員を対象とした研修会を実施した。			
		R4年度実績	町公式ホームページ・付属アプリ「まちナビ2」の運用に際し、各担当課に対しホームページに未掲載になっている施策や事業、取組みを掲載できるよう進めた。また、町ホームページの効果的な情報発信や表現方法について職員を対象とした研修会を実施するとともにウェブアクセシビリティの向上とまちナビ2の活用促進についての周知を図った。			
		R5年度計画	町公式ホームページ・付属アプリ「まちナビ2」の運用に際し、リアルタイムでの情報提供できるよう迅速に対応することで、アクセス数・利用者数の増加を目指す。 また、Twitter等のSNSを活用した情報発信について、トータル的な情報発信環境が継続できるよう、各課との横断的な連携を行う。 ・ホームページ検討委員会(あるいは広報委員会議)の開催：年5回程度 総務課・企画空港課と共同でプロモーションを担うキープレイヤーの公募等を行う。			
		R6年度計画	町公式ホームページ・付属アプリ「まちナビ2」の運用に際し、リアルタイムでの情報提供できるよう迅速に対応することで、アクセス数・利用者数の増加を目指す。 また、Twitter等のSNSを活用した情報発信について、トータル的な情報発信環境が継続できるよう、各課との横断的な連携を行う。 ・ホームページ検討委員会(あるいは広報委員会議)の開催：年5回程度 総務課・企画空港課と共同でプロモーションを担うキープレイヤーと戦略の検討・策定を行う。			
6	事業費	計画(千円)		実績(千円)		
		年度	事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
		2	0		0	
		3	0		0	
		4	0			
		5	0			
		6	0			
計	0		0			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町ホームページアクセス数【150,000件/年】	目標2	Twitter投稿数【1,500件/累計】
			計画	実績	計画	実績
		2	142,000	340,538	300	24
		3	144,000	350,559	300	49
		4	146,000	213,259	300	42
		5	148,000		300	
		6	150,000		300	
		計	730,000 件	904,356 件	1,500 件	115 件
			進捗率	123.88 %	進捗率	7.67 %
		確認方法	アクセス分析ツールにより		Twitterの検索により	
		年度	目標3	「よこしほのかりまちナビ2」アプリ利用者数【2,000人/累計】	目標4	サポートサイトアクセス数【18,000件/年】
			計画	実績	計画	実績
		2	300	800	3,600	21,079
		3	300	595	7,200	20,148
4	400	837	10,800	22,409		
5	500		14,400			
6	500		18,000			
計	2,000 人	2,232 人	54,000 件	63,636 件		
	進捗率	111.60 %	進捗率	117.84 %		
確認方法	委託業者の報告により		サイトアクセス数の確認			

8	KPI 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		2	外部有識者からの意見	・デザインの一貫性の検討 ・アクセスログの解析	町ホームページの効果的な情報発信や表現方法について職員を対象とした研修会を実施
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）	
		3	今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	町ホームページの効果的な情報発信や表現方法についての職員を対象とした研修会を実施するとともにウェブアクセシビリティの向上とまちナビ2の活用促進について周知を図った。
			計画変更の必要性	無	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
		4	評価年月日	令和4年7月14日	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・まちナビアプリ利用者からの意見聴取と改善 ・直接的にダウンロードにつながるアプリ広報 ・外国人向け広報の充実	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
		5	評価年月日	令和4年8月17日	町ホームページの効果的な情報発信や表現方法についての職員を対象とした研修会を実施するとともにウェブアクセシビリティの向上とまちナビ2の活用促進について周知を図った。
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、利用者の利便性と利用者数の向上により、基本目標に係る数値目標につながるよう積極的な取組を検討をする	
			計画変更の必要性	無	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		7	外部有識者からの意見	・地域に密着した広報紙となった ・アプリ等関連情報をまとめることでの相乗効果を検討	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続				
8	今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	計画変更の必要性	無			
	評価会議名称				
	評価年月日				
9	今後の方針		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	保育料の負担軽減事業		担当課	健康こども課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる					
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援					
		項目	① 保育料の負担軽減					
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	●			
3	事業概要	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育に係る個人負担を軽減し、子育て環境において選ばれる町を目指す。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。					
		R3年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。					
		R4年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。					
		R5年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図る。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。					
		R6年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図る。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	612,443	456,982	国県他	609,053	465,630	国県他
		3	599,349	454,697	国県他	621,034	467,014	国県他
		4	624,883	454,697	国県他	625,493	457,690	国県他
		5	606,223	451,701	国県他			
		6	606,223	451,701	国県他			
		計	3,049,121	2,269,778		1,855,580	1,390,334	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2			
			計画	実績	計画	実績		
		2	63	81				
		3	63	—				
		4	64	—				
		5	64					
		6	65					
		計	65 %	81 %	0 人	0 人		
			進捗率	124.62 %	進捗率	#DIV/0! %		
		確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・数値目標の設定検討 ・移住定住との連携、PRの強化	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	子ども医療・児童医療費助成事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
		項目	② 0歳から高校3年生までの医療費無料化				
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。横芝光町では平成27年度から他市町に先立ち高校3年生までを無料化しており、今後も制度を継続し、子育て施策の充実を図る。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。				
		R3年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。				
		R4年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。				
		R5年度計画	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。 他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続する。 また、子ども医療費助成事業の対象を高校生（18歳の年度末まで）まで引き上げし、高校生の児童の現物給付支給を実施する。				
		R6年度計画	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。 他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	65,598	16,954 国・県	64,929	17,310 県補	
		3	84,000	23,680 国・県	71,727	19,409 県補	
		4	77,296	20,208 国・県	73,449	18,661 県補	
		5	76,521	16,932 国・県			
		6	76,521	16,932 国・県			
計	379,936	94,706	210,105	55,380			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	63	81			
		3	63	—			
		4	64	—			
		5	64				
		6	65				
		計	65 %	81 %	0 人	0 人	
			進捗率	124.62 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 高校生への現物給付による支援検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	千葉県が実施する子ども医療費助成制度が令和5年度(8月)に現物給付の対象を高校生までに拡大する制度の改正を行うこととなったため、町でも同時期に現物給付による支援が実施できるよう調整を行った。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、利用者の利便性向上を考慮しながら、今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 対象年齢の引き上げ検討 ・ 高校生の保護者をアンケート対象者とするものの検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	子育て支援事業（子育て日用品助成券の支援）			担当課	健康こども課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
		項目	③ 子育て日用品の助成				
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品購入費の助成を行うことにより、子育て世帯の経済的負担を軽減する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,181枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能7店舗での助成券の使用枚数は1,231枚(扶助費1,231,000円)であった。				
		R3年度実績	令和3年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,114枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能8店舗での助成券の使用枚数は1,074枚(扶助費1,074,000円)であった。				
		R4年度実績	令和4年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,010枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能8店舗での助成券の使用枚数は1,078枚(扶助費1,078,000円)であった。				
		R5年度計画	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券支給 @1,000円/月×12か月×94人				
		R6年度計画	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券支給 @1,000円/月×12か月×94人				
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)	
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源
		2	1,544	772	基金	1,279	585 基金
		3	1,298	649	基金	1,075	477 基金
		4	1,236	618	基金	1,078	523 基金
		5	1,163	581	基金		
		6	1,163	581	基金		
計	6,404	3,201		3,432	1,585		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2	0歳児人口【558人/累計】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	63	81	120	102	
		3	63	—	117	111	
		4	64	—	111	103	
		5	64		107		
		6	65		103		
		計	65 %	81 %	558 人	316 人	
			進捗率	124.62 %	進捗率	56.63 %	
		確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	特になし		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・特になし		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・特になし		
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
外部有識者からの意見					
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	子育て用品リサイクル事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
		項目	④ 子育て用品リサイクルのマッチング				
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	ベビー用品などの子育て用品は再利用可能なものが多いにもかかわらず処分されてしまう「もったいない」現状から、リサイクルできる子育て用品をネットワークで結び、再利用できる仕組みを構築する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年に一件ベビーベッド等を譲りたいという申し出があり、プラム内のロビーに掲示していたところ、ベビーベッド等を欲しいという申し出があり、子育て日用品リサイクル用品の譲渡が成立した。				
		R3年度実績	令和3年の周知方法については、従来のプラムロビー内の掲示板での周知に加えて、町ホームページでの周知を始めたとともに、電子メールで譲渡者と譲受者の申請が出来る仕組みを創設した。また町ナビでも利用案内の周知記載を行った。 実績については、1件（紙おむつ）の譲受が成立した。				
		R4年度実績	令和4年の周知方法については、プラムのロビー内の掲示板での周知、町ホームページでの周知、チラシを配布した。 実績については、3件（チャイルドシート2件、ベビーベッド1件）の譲受が成立した。				
		R5年度計画	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーと町ホームページにて譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知する。 ◎株式会社ジモティーと循環型社会の形成に向けた協定を締結予定。				
		R6年度計画	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーと町ホームページにて譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知する。 ◎ジモティーとリサイクル協定について周知する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5	0				
		6	0				
計	0		0				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	リサイクル品の譲渡件数【5件/年】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	2	1			
		3	3	1			
		4	4	3			
		5	4				
		6	5				
		計	18 件	5 件	0 人	0 人	
			進捗率	27.78 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	年あたりの譲渡件数実績						

8	KPI評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・周知方法の検討	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	新たな周知方法として、町ホームページ及び町ナビへの掲載を行った。また、ホームページ上にリサイクル事業の掲示板を新設し、電子メールでの手続きを行える仕組みを創設した。
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	・議渡会の設定検討 ・子育て日用品助成券配布時の事業周知 ・SDGs視点に基づく事業検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	子育て日用品助成券配布時健康こども課関連各種手続きでプラム来所時に個別に事業周知を行った。 また、リサイクル専門ウェブサイトと協議を行い協定に向けて調整を図った。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	学校給食費負担金助成事業		担当課	教育課 学校給食センター		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
		項目	⑤ 学校給食費の無償化				
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	横芝光町に住所を有する小学校児童及び中学校生徒の保護者に対し、学校給食費保護者負担金を助成することにより、教育費負担を軽減し、子育て支援に資する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円/月(270円/食) 中学校 5,100円/月(300円/食) ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。(償還払い方式) ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。(償還払い方式) ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。 				
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円/月(270円/食) 中学校 5,100円/月(300円/食) ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。(償還払い方式) ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。(償還払い方式) ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。 				
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円/月(270円/食) 中学校 5,100円/月(300円/食) ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。(償還払い方式) ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。(償還払い方式) ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。 				
		R5年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円/月(270円/食) 中学校 5,100円/月(300円/食) ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。(償還払い方式) ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。(償還払い方式) ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。 				
		R6年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円/月(270円/食) 中学校 5,100円/月(300円/食) ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。(償還払い方式) ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。(償還払い方式) ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	71,910	0 空港	65,929	59,336 空港	
		3	71,787	0 空港	75,504	67,953 空港	
		4	73,946	0 空港	71,297	64,166 空港	
		5	73,310	0 空港			
		6	71,787	0			
計	362,740	0	212,730	191,455			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	63	81			
		3	63	—			
		4	64	—			
		5	64				
		6	65				
		計	65 %	81 %	0 人	0 人	
			進捗率	124.62 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月28日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・ 地産地消具体化の検討	以前より、米、もち麦、小松菜、三つ葉、には町内産で賄っており、そのほかの食材も可能な範囲で町内産を用いて地産地消につながるよう取り組みを行っている。		
		2	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日		令和3年8月17日	
			今後の方針		事業内容の見直し（改善）	
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		令和4年7月14日	
			事業の評価		総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・ 更なる地産地消に向けて、農業振興会等との話し合いの場設定の検討		米、もち麦、小松菜、三つ葉、にはすべて町内産で賄っており、その他、ねぎやトマトなど可能な範囲で町内産を用いているほか、限定的ではあるが、地元産食材による地産地消メニューなどの取り組みを行っている。	
		4	評価会議名称			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日			令和4年8月17日
			今後の方針	事業の継続		
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・ 特になし	/		
		6	評価会議名称			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日			令和5年8月17日
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
外部有識者からの意見		/				
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
今後の方針の理由						
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	保育所等給食費助成事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
		項目	⑥ 保育所等給食費の負担軽減				
		掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	安心して子どもを生み育てることができ、かつ、子どもが健やかに成長することができる町づくりを実現するため、子育て世帯に対する子育て支援施策の一つとして、子どもたちの健やかな発育・発達の重要な要素となる「食」を町が支援し、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成する。					
4	事業年度	令和5年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績					
		R4年度実績					
		R5年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育園や幼稚園に通う本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 ・実施方法 町内保育園等を利用の方は町が給食費助成額を毎月利用施設に支払い 町外保育園等を利用の方は申請のうえ領収書に基づく償還払い ・助成額 各園の定める給食費又は5,000円のいずれか低い額を助成				
		R6年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育園や幼稚園に通う本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 ・実施方法 町内保育園等を利用の方は町が給食費助成額を毎月利用施設に支払い 町外保育園等を利用の方は申請のうえ領収書に基づく償還払い ・助成額 各園の定める給食費又は5,000円のいずれか低い額を助成				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	-	-	-	-	
		3	-	-	-	-	
		4	-	-	-	-	
		5	21,600				
		6	21,600				
計	43,200		0				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	-	-			
		3	-	-			
		4	-	-			
		5	64				
		6	65				
		計	65 %	0 %	0 人	0 人	
			進捗率	0.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
	確認方法	アンケート					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		2	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由 計画変更の必要性		
		3	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		4	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由 計画変更の必要性		
		5	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		6	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和8年度実績)
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由 計画変更の必要性		
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和9年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和10年度実績)		
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由 計画変更の必要性				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	不妊治療費助成事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(2) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援				
		項目	① 不妊治療費の助成				
		掲載ページ	29 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成し、子どもが欲しい世帯の希望をかなえ、経済的負担の軽減を図るとともに、不妊に関する相談等、総合的な支援体制の強化を図る。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページに掲載及びチラシを作成し、役場窓口・プラムカウンターに設置した。 ・事業周知用紙等消耗品 1,937円 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円(上限額)×年6人 @ (29,000円+27000円)×1人 @27,000円×1人 ※当初予算500,000円、9月補正予算、300,000円 計800,000円 【実績額：710,000円(約89%) / 申請者8人(9件)】				
		R3年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページ及び広報への掲載と周知用チラシを作成し、対象者への周知を行った。 ・事業周知用紙等消耗品 1,965円 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円(上限額)×年8人 @ (62,000円+38,000円)×1人 @84,000円×2人 ※当初予算800,000円、流用268,000円 計1,068,000円 【実績額：1,068,000円(100%) / 申請者11人(12件)】				
		R4年度実績	(1) 特定不妊治療助成事業 不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページ及び広報への掲載と周知用チラシを作成し、対象者への周知を行った。 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円(上限額)×年5人 ※当初予算1,000,000円 【実績額：500,000円(約50%) / 申請者5人(5件)】 (2) 不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業）※新規事業（令和4年12月補正） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。） @87,000円+3,300円（文書料） @47,000円+4,200円（文書料） @21,000円+500円（文書料） ※補正予算700,000円（7件分） 【実績額：155,000円(約22%) +8,000円（文書料） / 申請者2人(3件)】				
		R5年度計画	(1) 特定不妊治療助成事業 令和6年3月29日申請までで終了 不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業 (2) 不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。）				
		R6年度計画	不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。）				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	802	401 基金	712	356 基金	
		3	1,002	501 基金	1070	535 基金	
		4	1,002	501 基金	663	321 基金	
		5	1,003	501 基金			
		6	1,002	501 基金			
計	4,811	2,405	2445	1,212			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	母子手帳交付人数【115人/年】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	115	92			
		3	115	101			
		4	115	88			
		5	115				
		6	115				
		計	575 人	281 人	0 人	0 人	
確認方法	母子健康手帳の交付人数【115人/年】		進捗率	48.87 %	進捗率	#DIV/0! %	

8	KPI 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		2	外部有識者からの意見	特になし	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
		3	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			計画変更の必要性	無	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		4	外部有識者からの意見	・特になし	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
		5	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			計画変更の必要性	無	
事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった				
6	外部有識者からの意見	・保険対象外治療費の負担軽減の検討	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
7	今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	計画変更の必要性	無			
	事業の評価				
8	外部有識者からの意見		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価会議名称				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	エンゼルヘルパー派遣事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(2) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援				
		項目	② 妊娠・出産期の支援				
		掲載ページ	29 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣サービスを提供し、安心して育児ができる環境を整える。令和元年度から設置された「子育て包括支援センター プラムっこ」との連携を図りながら、出産後の母親の体や心のケアのため産後ケアの充実を図り、女性の健康を支援する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年度は、エンゼルヘルパー事業の委託事業所と契約ができなかったため、実質事業の実施ができず利用者なしとなってしまった。令和2年12月9日にエンゼルヘルパー派遣業務委託先事業の受託の協議を「九十九里ホーム」と行い、令和3年度より委託できることとなった。				
		R3年度実績	令和3年度からエンゼルヘルパー派遣業務委託先事業所として新たに「九十九里ホーム」と契約を行った。 周知の方法については、町ホームページに記載、広報に2回（6月号・12月号）及び町ナビに5月頃利用案内を行うとともに、妊娠届提出の来庁時に、口頭及びチラシによる案内を行った。 利用登録の申請が1件あった。				
		R4年度実績	令和4年度も九十九里ホームと契約を行ったが、利用希望者なし。 周知の方法としては、町広報で周知した。				
		R5年度計画	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 2,000円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 @3,000円/h×110%×2h×4日×1人×6か月				
		R6年度計画	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 2,000円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 @3,000円/h×110%×2h×4日×1人×6か月				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	108	54 基金	0		
		3	237	118 基金	1	0	
		4	159	79 基金	0	0	
		5	161	80 基金			
		6	161	80 基金			
計	826	411	1				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	母子健康手帳の交付人数【115人/年】	目標2	利用人数【1人/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	115	92	-	0	
		3	115	101	-	0	
		4	115	88	1	0	
		5	115		1		
		6	115		1		
		計	575 人	281 人	3 人	0 人	
	進捗率	48.87 %	進捗率	0.00 %			
確認方法	母子健康手帳の交付者数		事業利用実績				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績) 達成度合いを計測・監視するための定量的な指標の観点から、利用人数を目標2として新たに加えることとした。		
			評価年月日	令和3年6月28日			
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
		2	外部有識者からの意見	特になし			
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
			評価年月日	令和3年8月17日			
		今後の方針	事業の継続				
		今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
		計画変更の必要性	無				
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績) 母子手帳交付時等健康こども課関連手続きでプラム来所時に個別に事業周知を行った。	
			評価年月日	令和4年7月14日			
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない			
		外部有識者からの意見	・母子手帳交付対象者に対するオール囲い込みでの事業促進の検討 ・LINEを活用した取組みの検討				
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
			評価年月日	令和4年8月17日			
			今後の方針	事業の継続			
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無				
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日			
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
		外部有識者からの意見	・特になし				
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
			評価年月日	令和5年8月17日			
今後の方針	事業の継続						
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める						
計画変更の必要性	無						
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)				
	評価年月日						
	事業の評価						
外部有識者からの意見							
8	評価会議名称						
	評価年月日						
	今後の方針						
	今後の方針の理由						
計画変更の必要性							
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議					
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議					

1	予算事業名	母子保健事業	担当課	健康こども課
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3	結婚、出産、子育ての希望をかなえる
		具体的な施策	(2)	妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援
		項目	③	子育て支援・母子保健事業の充実
		掲載ページ	29 頁	重点への位置づけ
3	事業概要	健康教育：さくらんぼクラブ（子育て教室）、おやこクッキング、おやこ食育教室 乳幼児健診：乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診 乳幼児健康相談：子育て相談、言葉の教室、巡回相談、5歳児相談 歯科保健事業：よい歯びかびかキッズ、2歳児歯科健診、よい歯のコンクール 子育て世代包括支援センター事業：妊娠届出時面接、妊娠8か月教室、出生時面接、産後ケア事業、産後ヨガ・ベビーヨガ、妊婦・乳幼児健康相談		
4	事業年度	令和2年度～令和6年度		
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようになると共に、令和2年4月1日に子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠届出や出生時の手続きの他、転入妊婦、転入乳幼児についてはセンターの相談室での面接や各事業の実施により妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図った。 ①さくらんぼクラブ：年10回、実26組、延66組（37,800円） ②おやこクッキング：感染症対策のため中止、おやこ食育教室：年1回、小学生親子実・延55人、推進員実・延1人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） ③乳児健診：年5回、対象111人、受診107人、受診率96.4%（336,712円） ④1歳6か月児健診：年6回、対象120人、受診117人、受診率97.5%（602,680円） ⑤3歳児健診：年6回、対象154人、受診149人、受診率96.8%（831,210円） ⑥5歳児相談：年3回、対象141人、受診46人、受診率32.6%（295,559円） ⑦乳幼児健康相談（1,935,407円） 子育て相談：年28回、実35人、延61人、言葉の教室：年124回、実53人、延382人、巡回相談：年10回、実、延175人 ④歯科保健事業（389,166円） よい歯びかびかキッズ：年10回、対象90人、受診84人、受診率93.3%、2歳児歯科健診：年4回、対象94人、受診93人、受診率98.9%、よい歯のコンクール：感染症対策のため中止 ⑤子育て世代包括支援センター事業（1,521,062円） 妊娠届出時面接：92人、妊娠8か月教室：年8回、対象85人、妊婦実23人、夫他家族実14人、出生時面接：110人、産後ケア事業：実3人、産後ヨガ・ベビーヨガ：年5回、実17組、妊婦・乳幼児健康相談：年12回、実77組、延218組	
		R3年度実績	1 健康教育①さくらんぼクラブ（子育て教室）（離乳食のみ）：回数2回、実8人、延8人（22,928円） ②おやこクッキング：感染症対策のためパンフレット配布のみ 回数5回、配布数159人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） 2 乳幼児健診等①乳児健診：回数6回、対象92人、受診数89人（286,326円） ②1歳6か月児健診：回数6回、対象102人、受診数97人（687,091円） ③3歳児健診：回数6回、対象142人、受診数135人（909,186円） ④5歳児相談：回数3回、対象155人、相談数38人（301,878円） 3 乳幼児健康相談①子育て相談：回数36回、実44人、延83人 ②言葉の教室：回数158回、実57人、延494人 ③巡回相談：回数9回（感染症対策のため後期巡回相談のみ実施）（合計2,187,012円） 4 歯科保健事業①よい歯びかびかキッズ（資料の配布へ内容変更）配布100人 ②2歳児歯科健診：回数5回、対象111人、受診数96人 ③よい歯のコンクール（感染症対策のため中止0人）（合計405,818円） 5 子育て世代包括支援センター事業 ①妊娠届出時面接：101人 ②妊娠8か月教室（ウェルカムベビークラスへ名称変更）：年6回、対象79人、妊婦実19人、家族実7人 ③出生時面接：97人 ④産後ケア事業（対象時期を産後1年へ拡大）：実4人 ⑤妊婦・乳幼児健康相談：年10回、実33組、延82組 ⑥2か月児相談：年12回、対象70人、実30人 ※産後ヨガ・ベビーヨガ教室は感染症対策のため中止（合計1,569,814円）	
		R4年度実績	1 健康教育①さくらんぼクラブ（子育て教室）（離乳食のみ）：回数2回、実22組、延22組（0円）※令和4年度から支援センター事業として実施。 ②おやこクッキング：感染症対策のためパンフレット配布のみ 回数5回、配布数137人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） 2 乳幼児健診等①乳児健診：回数6回、対象101人、受診数100人（300,161円） ②1歳6か月児健診：回数6回、対象116人、受診数105人（699,900円） ③3歳児健診：回数6回、対象129人、受診数126人（2,178,865円） ④5歳児相談：回数3回、対象147人、相談数28人（279,451円） 3 乳幼児健康相談①子育て相談：回数34回、実28人、延63人 ②言葉の教室：回数144回、実64人、延460人 ③巡回相談：回数10回（合計1,851,414円） 4 歯科保健事業①よい歯びかびかキッズ：年6回、対象111人、受診87人、受診率78.4% ②2歳児歯科健診：回数4回、対象106人、受診数88人、受診率83.0% ③よい歯のコンクール（高齢者部門1回 2人）（合計773,022円） 5 子育て世代包括支援センター事業 ①妊娠届出時面接：88人 ②妊娠8か月教室（ウェルカムベビークラスへ名称変更）：年6回、対象89人、妊婦実32人、家族実27人 ③出生時面接：82人 ④産後ケア事業（対象時期を産後1年へ拡大）：実8人 ⑤妊婦・乳幼児健康相談：年12回、実37組、延104組 ※産後ヨガ・ベビーヨガ教室：年11回、実47人（センター事業：合計1,298,529円） 実績額合計：7,381,342円	
		R5年度計画	・子育て世代包括支援センターの機能を十分に果たし、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図る。 ・母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようになると共に、母子保健と子育て支援サービスの一体化をめざし、子育て世代包括支援センター事業や母子保健事業での子育て支援サービスのPRや把握された特定妊婦や要支援児への子育て支援サービス等の活用による早期支援の充実を図る。 ・伴走型相談支援として、妊娠届出時・妊娠後期・出産後にアンケートを実施し専門職の面接を全数実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援を行う。	
		R6年度計画	・子育て世代包括支援センターの機能を十分に果たし、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図る。 ・母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようになると共に、母子保健と子育て支援サービスの一体化をめざし、子育て世代包括支援センター事業や母子保健事業での子育て支援サービスのPRや把握された特定妊婦や要支援児への子育て支援サービス等の活用による早期支援の充実を図る。 ・伴走型相談支援として、妊娠届出時・妊娠後期・出産後にアンケートを実施し専門職の面接を全数実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援を行う。	

年度	計画(千円)		実績(千円)	
	事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
2	7,234	743 基金	5,950	443 基金
3	7,355	324 基金	6,370	306 基金
4	6,471	329 基金	7,381	123 基金
5	6,403	502 基金		
6	6,403	502 基金		
計	33,866	2,400	19,701	872

年度	目標1 母子手帳交付人数【115人/年】		目標2	
	計画	実績	計画	実績
2	115	92		
3	115	101		
4	115	88		
5	115			
6	115			
計	575 人	281 人	0 人	0 人
	進捗率	48.87 %	進捗率	#DIV/0! %
確認方法	母子手帳の交付者数			

年度	評価会議名称	評価年月日	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	計画変更の必要性	評価会議を踏まえた対応(令和3年度実績)
2	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	令和3年8月17日	事業内容の見直し(改善)		意見を踏まえ今後も計画どおり進める	無		
3	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	令和4年7月14日	総合戦略のKPI達成に有効であった	・ヨガ・食育教室・子育て支援センター事業の園庭解放に限らず、気軽に参加できるコミュニケーションの場設定の検討				評価会議を踏まえた対応(令和4年度実績)
4	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	令和4年8月17日	事業の継続		意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	無		評価会議を踏まえた対応(令和5年度実績)
5	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	令和5年7月10日	総合戦略のKPI達成に有効であった	・町ホームページとアプリの連携検討				評価会議を踏まえた対応(令和6年度実績)
6	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	令和5年8月17日	事業の継続		意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	無		
7								
8								

年度	備考
9	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議

1	事業名	教育補助事業～苦手克服大作戦！～		担当課	教育課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携				
		項目	① 中学生の学習活動をサポート				
		掲載ページ	30 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	中学生の自主的な学習活動をサポートするため、町民会館を利用した教育補助事業を展開し、生徒の学力向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減させ、充実した教育環境と子育ての町をアピールする。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。(R2年度は町民会館空調工事のため文化会館で実施) ・日時 8月4日～8月19日の火～金(祝日除く) 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×9日=313,200円				
		R3年度実績	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金(祝日除く) 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×19日=661,200円 1,450円×6時間×3人×1日=26,100円 1,450円×3時間×1人×1日=4,350円 合計691,650円				
		R4年度実績	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金(祝日、8月15日を除く) 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×22日=765,600円 1,450円×3時間×4人×1日=17,400円 1,450円×3時間×3人×1日=13,050円 合計796,050円 23日間実施(22日間(午前・午後4人配置)、1日間(午前3人配置、午後4人配置))				
		R5年度計画	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置する。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金(祝日、8月14日、15日を除く) 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00				
		R6年度計画	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置する。 ・時期：夏休み(祝日を除く火曜日から金曜日) ・その他詳細については、前年度の反省を踏まえ検討する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	314	157	313	156	推進
		3	836	418	692	346	基金
		4	766	383	796	398	基金
		5	766	383			
		6	766	383			
計	3,448	1,724	1801	900			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	参加生徒数【300人／累計】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	60	39			
		3	60	49			
		4	60	119			
		5	60				
		6	60				
		計	300 人	207 人	0	0	
確認方法	参加実績による ・参加申込人数		進捗率	#DIV/0! %			

8	KPI評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・KPIは人数ではなく満足度にしてはどうか	参加者にアンケートをとり、満足度等も調査している。 多くの生徒が参加することによる、学習支援の充実を目的としているため、KPIについては参加生徒数としている。	
		2	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和3年8月17日
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)		
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・特になし	/	
		4	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和4年8月17日
		今後の方針	事業の継続		
		今後の方針の理由	コロナ禍においても、より多くの生徒に受講機会を提供できるよう対策を講じながら、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった				
外部有識者からの意見	・特になし	/			
6	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日		令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
外部有識者からの意見		/			
8	評価会議名称				
	評価年月日				
今後の方針					
今後の方針の理由					
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	放課後児童健全育成事業の充実		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携				
		項目	② 児童クラブの充実				
		掲載ページ	30 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない小学生の児童を放課後に預かり、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立を支援する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4学年までの受入れを実施。）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和2年度は、第4学年を追加募集して受け入れを実施した。 ○参考：募集手順 第1学年から第3学年の募集⇒受入定員に余裕がある⇒第4学年以上の学年を追加募集（現状では第4学年までの受入れ実施）				
		R3年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4学年までの受入れを実施。）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和3年度は、第4学年を追加募集して受け入れを実施した。 ○参考：募集手順 第1学年から第3学年の募集⇒受入定員に余裕がある⇒第4学年以上の学年を追加募集（現状では第4学年までの受入れ実施）				
		R4年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4・5学年の受入れを実施）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和4年度から対象児童の募集及び受入れを第4学年から第5学年までの引き上げを実施した。令和5年度以降は、第6学年まで募集を実施。令和4年度末で契約期間が満了（債務負担行為）となったため、契約更新に向けてプロポーザルを実施した。令和5年度から児童クラブの実施時間延長について調整を図った。				
		R5年度計画	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第6学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続する。 令和5年度から児童クラブの実施時間の延長（現行の前後30分ずつ）を実施する。				
		R6年度計画	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第6学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	56,195	30,394 国・県	48,313	28,807 国・県	
		3	48,678	30,433 国・県	47,734	19,392 国・県	
		4	50,292	31,606 国・県	49,133	28,879 国・県	
		5	52,385	30,996 国・県			
		6	52,385	30,996 国・県			
計	259,935	154,425	145,180	77,078			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	児童クラブ待機者数【0人】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	0	0			
		3	0	0			
		4	0	0			
		5	0				
		6	0				
		計	0 人	0 人	0 人	0 人	
	進捗率	100.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	待機児童リスト					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月28日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	特になし		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月14日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・空港従業者を対象とした場合や保育園開設時間との整合性を図った開設時間の検討 ・居場所づくりのためにも、小学校6年生までの児童受入れ早期実現の検討		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、事業の充実を図りながら、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月10日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・教育の観点の取り入れ検討		
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
	外部有識者からの意見					
8	評価会議名称			評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	英語教育推進事業	担当課	教育課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3	結婚、出産、子育ての希望をかなえる			
		具体的な施策	(3)	教育振興と子育ての連携			
		項目	③	グローバルな教育振興			
		掲載ページ	30	頁	重点への位置づけ	—	
3	事業概要	世界で活躍できるグローバルな人材を育成するため、小中学生の英語力を強化、成田臨空地域という地域性を生かした国際性豊かな教育を推進する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,000円×214人=428,000円 ・4級@2,600円×188人=488,800円 ・3級@3,900円×92人=358,800円 ・準2級@4,900円×40人=196,000円 ・2級@5,500円×8人=44,000円 ・1級@10,300円×1人=10,300円 合計 1,525,900円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導の中で、英語教育を推進した。				
		R3年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,500円×217人=542,500円 ・4級@2,900円×180人=522,000円 ・3級@4,800円×99人=475,200円 ・準2級@5,800円×47人=272,600円 ・2級@6,500円×11人=71,500円 ・1級@10,700円×1人=10,700円 合計 1,894,500円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導の中で、英語教育を推進した。				
		R4年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,500円×208人=520,000円 ・4級@2,900円×194人=562,600円 ・3級@4,700円×106人=498,200円 ・準2級@5,700円×26人=148,200円 ・2級@6,400円×9人=57,600円 合計 1,786,600円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導の中で、英語教育を推進した。				
		R5年度計画	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成する。 ・5級@2,500円×195人=487,500円 ・4級@2,900円×175人=507,500円 ・3級@4,700円×115人=540,500円 ・準2級@5,700円×36人=205,200円 ・2級@6,400円×4人=25,600円 合計 1,766,300円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導の中で、英語教育を推進する。				
		R6年度計画	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成する。 ・5級@2,500円×190人=475,000円 ・4級@2,900円×170人=493,000円 ・3級@4,700円×110人=517,000円 ・準2級@5,700円×30人=171,000円 ・2級@6,400円×4人=25,600円 合計 1,681,600円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導の中で、英語教育を推進する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	1,573	786 基金	1,526	763 基金	
		3	1,600	800 基金	1,895	947 基金	
		4	1,872	917 基金	1,787	893 基金	
		5	1,767	884 基金			
		6	1,682	841 基金			
		計	8,494	4,228	5,208	2,603	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	英検取得者(平均取得率)【72%】	目標2	中学校3年生3級所得率【50%】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	57.60	75.00			
		3	61.20	80.2			
		4	64.80	76.43	45	9.04	
		5	68.40		48		
		6	72.00		50		
		計	72 %	77.21 %	50 %	9.04 %	
			進捗率	107.24 %	進捗率	18.08 %	
		確認方法	全学年英検取得者実績÷中学校生徒数×100		3年生3級以上取得者÷3年生生徒数×100		

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・3級合格率の数値目標を設けてはどうか	中学3年生の3級所得率50%以上を数値目標として加えることとした。	
		2	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和3年8月17日
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)		
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・特になし	/	
		4	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和4年8月17日
			今後の方針		事業の継続
			今後の方針の理由		今後も計画どおり進める
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・補助対象に小学生の追加を検討 ・補助対象検定回を選択できるよう検討	/	
		6	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和5年8月17日
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を検討した上で、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
外部有識者からの意見		/			
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	グローバル人材海外派遣事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携				
		項目	③ グローバルな教育振興				
		掲載ページ	30 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	成田臨空地域という地域性を生かし、世界で活躍できるグローバルな人材を育成するため、町内在住の中学生を海外に派遣し、国際感覚の醸成と異文化理解の向上を推進する。					
4	事業年度	令和5年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績					
		R4年度実績					
		R5年度計画	町内在住の中学生をシンガポールに派遣し、現地の大学生との交流や現地施設の見学などを通じ、世界で活躍できる人材を育成する。 ・派遣人数 横芝光町に在住する中学生（中学1年生から中学3年生）10名、引率者2名 ・派遣日数 4泊5日（ホテル泊） ・個人負担額 50,000円/人 ・派遣者は、事前説明会、研修会、派遣後の報告会に参加				
		R6年度計画	町内在住の中学生を海外に派遣し、英語で現地の同世代との交流、異文化に親しむ機会や社会見学（歴史的施設見学）などを通じ、世界で活躍できる人材を育成する。 ・派遣人数 横芝光町に在住する中学生（中学1年生から中学3年生）10名、引率者2名 派遣内容については、令和5年度の事業実績および参加者からのアンケートを参考にし、検討していく。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2					
		3					
		4					
		5	5,321	4,789 空港			
		6	5,500	4,950 空港			
計	10,821	9,739	0	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	海外派遣者数【20名/累計】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2					
		3					
		4					
		5	10				
		6	10				
		計	20 人	0 人	0 人	0 人	
			進捗率	0.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法	事業を通じての海外派遣人数				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日			
			事業の評価			
			外部有識者からの意見			
		2	評価会議名称			
			評価年月日			
			今後の方針			
			今後の方針の理由			
			計画変更の必要性			
		3	評価会議名称			評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日			
			事業の評価			
			外部有識者からの意見			
		4	評価会議名称			
			評価年月日			
			今後の方針			
			今後の方針の理由			
			計画変更の必要性			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月10日		
事業の評価	実績が無いため評価を行わない					
外部有識者からの意見	・成田空港での研修検討					
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和5年8月17日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
	計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
	外部有識者からの意見					
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
	計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	成田市方面への公共交通網整備促進事業		担当課	企画空港課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる			
		具体的な施策	(1) 町外への交通アクセスの充実			
		項目	① 成田方面への公共交通網の充実			
		掲載ページ	32 頁	重点への位置づけ	●	
3	事業概要	成田空港の更なる機能強化により、空港関連企業で働く就業者の増加が予想される中、横芝光町への定住促進を目的に、住民ニーズの高い公共交通を充実させる施策の一つとして、町と成田市方面を結ぶシャトルバス(横芝光号成田便)の全日運行を行い、通勤、通学またはレジャーなど、住民の利便性の向上に資する施策を推進する。				
4	事業年度	令和2年度～令和6年度				
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	地域公共交通計画策定に係る基礎調査による横芝光号成田便の利用実態及びニーズ等の現況把握を行い、利用促進策としては、スマートフォンのナビゲーションアプリである「NAVITIME」において、横芝光町へのルート検索をした際に、横芝光号成田便を移動手段の一つとして表示できるようナビタイムジャパン社と調整を行った。また、「成田空港温泉空の湯」など成田方面の各種乗車ポイントへ引き続きリーフレットを設置するなど利用促進を図った。 運行経費52,293,068円 - 運賃収入4,805,947円 = 町支出額47,487,121円 乗車人数 17,915人			
		R3年度実績	利便性向上のため、令和3年4月1日からバス内にFREE WiFiを完備した。前年度の基礎調査や利用実態等の結果を受け、町内公共交通全般を見直す地域公共交通計画を年度末に策定した。その中で、横芝光号成田便については、令和4年12月頃を目途に、成田市方面へのアクセス強化のため、1日20便から30便へ増便、また鉄道との乗り換えを考慮したダイヤ改正などを行うこととした。しかしながら、成田空港の稼働状況を鑑み、最終判断を行うこととしている。 運行経費54,358,387円 - 運賃収入5,467,071円 = 町支出額48,891,316円 乗車人数 20,407人			
		R4年度実績	昨年度末に策定した地域公共交通計画に基づき、成田空港の稼働状況を鑑みながら、公共交通会議で増便やダイヤ改正等の審議を図った結果、令和5年5月20日より30便までの暫定措置として、1日23便での運行を開始することとなった。それに伴い、新たなダイヤでのチラシの作成や既存利用者への案内など広く周知し、利用者増加や利便性の向上に努めた。 運行経費55,208,905円 - 運賃収入7,885,349円 = 町支出額47,323,556円 乗車人数 29,610人			
		R5年度計画	従来の利用促進策を継続しながら、新たに利用者を取り込むための施策の検討及び実施をし、利用者の増加や利便性向上に努める。 令和6年度より1日30便へ増便するため、成田国際空港の需要や社会情勢を鑑み、公共交通会議に図る。また、成田便を活用した他市町との広域連携を増便に併せ検討する。			
		R6年度計画	従来の利用促進策を継続しながら、新たに利用者を取り込むための施策の検討及び実施をし、利用者の増加や利便性向上に努める。			
6	事業費	計画(千円)		実績(千円)		
		年度	事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
		2	48,701	48,701 空港	47,487	47,487 空港
		3	48,664	48,664 空港	48,891	48,891 空港
		4	56,996	56,996 空港	47,324	47,323 空港
		5	52,602	52,602 空港		
		6	70,688			
		計	277,651	206,963	143,702	143,701
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	1日あたりの往復便数【20便】	目標2	
			計画	実績	計画	実績
		2	20	20		
		3	20	20		
		4	30	20		
		5	30			
		6	30			
		計	130 便	60 便	0 人	0 人
			進捗率	46.15 %	進捗率	%
確認方法	補助金実績報告に基づく					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)		
			評価年月日	令和3年6月24日			
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
		外部有識者からの意見	・通学者と通勤者の人数調査が必要	・地域公共交通計画策定に係る基礎調査により実態把握を行った。利用目的の58%が買物で、通勤は7%、通学は0%であった。現行利用者の67%が10代であった。再編計画では通勤通学の利便性を高めるようにする。			
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
		評価年月日	令和3年8月17日				
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)				
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める				
		計画変更の必要性	無				
		3	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日		令和4年7月22日		
			事業の評価		総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・高齢者を意識し、例えば、人間ドック利用者向けとして国際医療福祉大学成田病院に行くルート設定などの検討 ・通勤、通学利用者の利便性向上につながる取組みの検討		通勤・通学利用者の利便性向上については、令和5年5月20日から1日23便での運行開始に伴い、ダイヤの見直しを図ることとした。今後も運行ルート等の意見を踏まえながら、利便性の向上につなげるよう検討していく。		
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
		評価年月日	令和4年8月17日				
		今後の方針	事業の継続				
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、持続可能な公共交通実現のために利便性向上を図りながら、今後も計画どおり進める				
		計画変更の必要性	無				
		5	評価会議名称			横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日			令和5年7月7日	
			事業の評価			総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・公共マップにバス停降車後の交通案内を加えることを検討 ・乗降数増加に向けた調査実施の検討 ・雇用主向け従業員のバス利用勧奨検討				
		6	評価会議名称			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	/
			評価年月日			令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続						
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める						
計画変更の必要性	無						
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)				
	評価年月日						
	事業の評価						
8	評価会議名称		/				
	評価年月日						
	今後の方針						
				今後の方針の理由			
				計画変更の必要性			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議					
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議					

1	事業名	駅前情報交流館活用事業	担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(2) 横芝駅周辺環境向上				
		項目	① 横芝駅周辺環境向上				
		掲載ページ	32 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	「第1期総合戦略」期間に設置された駅前情報交流館「ヨリドコロ」について、更なる機能充実や利用環境の向上を図り、利用者数の増加を目指す。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、駅前マルシェ8回、鉄道巡回展を開催し地域の魅力を発信した。 ・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言や時短営業により閉館や開館時間の短縮を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、ワークショップやポスター展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・ホームページ、Facebook、Instagramを活用し、観光情報や行政情報を発信した。 				
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会や商工会と連携し、駅前マルシェ8回、オリンピック関連展示等を開催し地域の魅力を発信した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大により大規模な集客イベント実施が困難であったが、感染対策を施したワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・ホームページ、Facebook、Instagramを活用し、観光情報や行政情報を発信した。 				
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会、商工会との連携により駅前マルシェ10回及び横芝駅125周年記念を実施した。 ・地域の魅力についてホームページやFacebook、Instagram等を活用し情報発信に務めた。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大により大規模な集客イベント実施が困難であったが、感染対策を施したワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・R5年度から5年間の指定管理者を選定した。 				
		R5年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会や商工会との連携により、地域の魅力についての情報発信力を高める。 ・待合時間におけるヨリドコロの活用による利用者数の増加やレンタルスペースの貸出促進及び各種イベント実施による駅前の活性化を図る。 ・ホームページやSNSを活用し、情報発信を強化する。 				
		R6年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会や商工会との連携により、地域の魅力についての情報発信力を高める。 ・待合時間におけるヨリドコロの活用による利用者数の増加やレンタルスペースの貸出促進及び各種イベント実施による駅前の活性化を図る。 ・ホームページやSNSを活用し、情報発信を強化する。 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	9,248	4,624 基金	9,247	4,450 基金	
		3	8,900	4,450 基金	8,898	4,449 基金	
		4	8,900	4,450 基金	9,064	4,532 基金	
		5	10,308	5,154 基金			
		6	10,308	5,154 基金			
計	47,664	23,832	27,209	13,431			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	「ヨリドコロ」利用者数【50,000人/年】	目標2	行事の開催数【50回/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	42,000	26,136	30	31	
		3	44,000	35,185	35	35	
		4	46,000	38,740	40	43	
		5	48,000		45		
		6	50,000		50		
		計	230,000 人	100,061 人	200 回	109 回	
進捗率		43.50 %	進捗率	54.50 %			
確認方法	入館カウンター、施設利用台帳		施設利用台帳				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		2	外部有識者からの意見	・ 宿泊組合ホームページとの連携 ・ 駐車場の検討 ・ 施設前の通りに面した広場の活用検討	広場にてイベント (チバザポークトレイン、タンザニア講習会)を実施した。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		4	外部有識者からの意見	・ 観光大使もぐもぐピーナッツとの連携検討	観光大使もぐもぐピーナッツと連携しイベント(梅まつり、長ネギレシビコンテスト等)を実施した。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、官民連携を図りながら、今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		6	外部有識者からの意見	・ 観光ガイドブックSUISUI活用検討 ・ 観光大使もぐもぐピーナッツを活用した事業の検討	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、官民連携を図りながら、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
8	外部有識者からの意見				
	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	未来を担う世代のための公共施設再編事業	担当課	財政課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる			
		具体的な施策	(3)	公共施設の活用			
		項目	①	公共施設機能の再編			
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	「第1期総合戦略」において公共施設総合管理計画を策定しており、「第2期総合戦略」においては同計画に基づき施設の更新・統廃合・除去等を計画的に進める。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	町公共施設等総合管理計画を具体的に実践するため、個々の公共施設について今後の整備方針を定めた町個別施設計画（令和元年度策定）に基づき、除却に伴う設計等を実施した。 ・旧横芝行政センター他解体工事設計業務委託（8,437千円） 令和2年3月をもって閉校となった旧南条小学校について、地域の活性化や町の発展につながる取り組みに活用するため、公募型プロポーザル方式により事業者の募集を行った。				
		R3年度実績	町個別施設計画に基づき、老朽化が著しく今後の利用見込みがない施設の除却を行った。 ・旧横芝行政センター他解体工事（207,874千円） （除却施設）旧横芝行政センター、旧横芝中央公民館ほか ・旧南条小学校の活用について、公募型プロポーザルを行い業者が決定した。（令和3年4月21日） 旧南条小学校賃貸借契約の締結 相手方：株式会社運動会屋 契約日：令和3年12月10日 賃貸借期間：令和4年1月1日～令和14年3月31日				
		R4年度実績	町個別施設計画に基づき、除却を行った旧横芝行政センターについて、今後の利活用に向け測量業務を実施し境界を確定させた。 また、4筆に分かれたものを1筆に合筆した。 ・旧横芝行政センター用地測量業務委託（2,915千円） ・旧横芝行政センター跡地登記業務委託（484千円）				
		R5年度計画	町個別施設計画に基づき、施設の更新等を行う。また、当計画の定期的な見直しを実施し、現状や将来の見通しに係る公共施設等の管理に関わる前提条件を整理し、現状と課題を最新に更新したうえで、必要に応じて各種事業計画の見直しを検討する。				
		R6年度計画	町個別施設計画に基づき、施設の更新等を行う。また、当計画の定期的な見直しを実施し、現状や将来の見通しに係る公共施設等の管理に関わる前提条件を整理し、現状と課題を最新に更新したうえで、必要に応じて各種事業計画の見直しを検討する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	9,713	0	8,437	0	
		3	252,225	0	207,874	207,874	基金
		4	11,787	0	11,618	5,809	基金
		5	1,119	461	基金		
		6					
計	274,844	461	227,929	213,683			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	施設の再利用、除却【2件】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2		0			
		3	2	2			
		4		0			
		5					
		6					
		計	2 件	2 件	0 人	0 人	
進捗率		100.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	契約の締結						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・草刈りなど施設維持に係る地域との連携検討			旧南条小学校について、施設活用事業者が地元住民の採用をしている。また、当該小学校に通っていた小学生を対象に体育館にて卒業式を行った。
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)			
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・跡地活用事業者との連携検討			旧南条小学校について、社会文化課の事業であるサバイバル体験教室で旧南条小学校を利用した。主に横芝敬愛高校の生徒らと災害を想定したワークショップや火起こしなどを実施した。(令和4年8月7日)
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和4年8月17日		
		今後の方針	事業の継続			
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月7日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・特になし			/
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
外部有識者からの意見				/		
8	評価会議名称					
	評価年月日					
今後の方針						
今後の方針の理由						
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	空き家関係条例等整備事業	担当課	都市建設課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(4) 空き地・空き家対策				
		項目	① 空き地や空き家の把握と管理対策の強化				
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	今後の人口減少に伴い増えることが懸念される空き家への対応として、空き家対策基本計画に基づく条例の整備や、空き家の具体的な利活用に向け、全国版空家バンク等への登録を促進する。					
4	事業年度	令和4年度～令和5年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	空家条例の整備の必要性について協議した。				
		R3年度実績	空家条例の整備について、空家等対策協議会に諮るための方針を協議し、条例を整備するための情報収集として県主催の空家等対策検討部会に参加することを決定した。				
		R4年度実績	空家条例の整備に向け調査、研究を行った。また、県主催の空家等対策検討部会に参加し、他市町村による先進事例等の情報収集を行った。				
		R5年度計画	空家条例の整備に向け調査、研究を行う。また、県主催の空家等対策検討部会に参加し、他市町村による先進事例等の情報収集を行う。				
		R6年度計画					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5					
		6					
計	0		0				
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	空き家条例の整備【1件】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2		0			
		3		0			
		4		0			
		5	1				
		6					
		計	1 件	0 件	0 人	0 人	
	進捗率	0.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	空き家条例の制定し、空家対策を促進する。					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特定空き家を規定した場合は十分に周知すること	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	「空き家バンク」整備事業			担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる					
		具体的な施策	(4) 空き地・空き家対策					
		項目	① 空き地や空き家の把握と管理対策の強化					
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	今後の人口減少に伴い増えることが懸念される空き家への対応として、空き家対策基本計画に基づく条例の整備や、空き家の具体的な利活用に向け、全国版空家バンク等への登録を促進する。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	全国版空家バンク（LIFULL）へのユーザー登録を行い、昨年度行った登録希望調査に基づき登録を行った。空家バンクへの掲載にあたっては、仮登録状態の掲載画面を登録希望者にDMで確認したうえで空家バンクへの掲載を行った。					
		R3年度実績	住宅地図作製業者より空家候補地情報を購入し、令和5年度実施予定の空家等実態調査の根拠資料を作成した。					
		R4年度実績	空家バンクの新規掲載件数を増加させるため、空家所有者に送付する令和5年度固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封するための準備をした。また、他市町村の先進事例等について調査、研究を行った。					
		R5年度計画	空家バンクの新規掲載件数を増加させるため、空家所有者に送付する令和5年度固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封する。また、空家等対策計画更新を目的とし、空家等実態・意向調査を業務委託により実施、横芝光町全域の空家の状況の把握に努める。この際、空家の現況についてアンケート方式で調査を行い、空家バンクへの登録希望についても意向を確認する。					
		R6年度計画	空家等実態・意向調査の結果についての空家データベース登録及び除却や別用途への利活用状況についてのデータ更新業務を委託により行う。 令和5年度に行った空家等実態・意向調査の結果を基に、空家等対策協議会に諮り空家等対策計画の更新を行い、空き家対策の方針を検討する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	154	77	基金	58	29	基金
		3	929	464	基金	696	348	基金
		4	63	31	基金	18	9	基金
		5	7,712	3,856	基金			
		6	154	77	基金			
計	9,012	4,505		772	386			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	空家バンク登録件数【10件】		目標2	空き家の把握【481件/累計】	
			計画	実績		計画	実績	
		2	2	8		461	456	
		3	2	0		5	0	
		4	2	1		5	0	
		5	2			5		
		6	2			5		
		計	10 件	9 件		481 件	456 件	
確認方法	空家バンクへの情報提供・登録件数			R3：空家候補調査購入件数				
	進捗率	90.00 %		進捗率	94.80 %			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	検討した内容を踏まえ、現段階では所有者への事業の周知が有効と判断し、空家所有者宛の固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封することとした。
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった ・空き家情報の提供など、移住相談員との連携検討	
			外部有識者からの意見	・今後取り込もうとしている人口に対応する空き家活用方法 ・空港機能強化を踏まえた利活用啓発	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、積極的な取組を検討する	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・空家バンク掲載に対する理解を得やすい環境整備の検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	広域連携創生事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(5) 自治体連携による総合戦略の推進				
		項目	① 山武郡市広域圏の連携				
		掲載ページ	34 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	山武市、多古町、芝山町、横芝光町の4市町は、成田空港の近傍に位置するものの、4万人の雇用を持つ成田空港への就業率は低い状態である。 成田空港の更なる機能強化に伴うメリットを最大限活用するため、国や千葉県との地域連携施策を活用しつつ、近隣自治体間の連携、空港との連携を深め、広域的な課題の解決や戦略的相互関係の構築に努める。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	成田空港南側圏グローバル人材育成事業による広域連携事業として教育補助事業を実施した。また、地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。 また、成田空港への就業促進のため、町内小学6年生を対象に周遊フライト事業を実施した。 ・空港南側圏担当者会議 3回 ・周遊フライト事業 1回（町内小学校6年生対象）※山武市、多古町実施。 参考：地方創生推進交付金（先駆型／補助率1/2／広域）採択実績あり。 事業名：成田空港南側圏グローバル人材育成事業 事業主体：山武市、芝山町、横芝光町、多古町 事業期間：平成28年度～令和2年度				
		R3年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。 また、令和2年度で地方創生推進交付金対象事業は終了したが、引き続き、空港南側圏4市町（山武市、芝山町、横芝光町、多古町）で連携し、成田空港への就業促進のため、空港関連産業に従事する関係者の講話授業を、小中学生向けに実施した。 ・空港南側圏担当者会議 3回 ・航空講話事業 中学校1校 小学校5校 ※航空講話事業は新型コロナウイルスの影響により、各学校タブレットを活用したオンラインによる講話授業を実施した。 ※周遊フライト事業は、町内6年生を対象に町単独で計画したが新型コロナウイルスの感染状況等により未実施となった。				
		R4年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。 また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話授業を、小中学生向けに実施した。 また、町内小学6年生を対象に周遊フライト事業を実施した。 ・空港南側圏担当者会議 2回 ・航空講話事業 中学校2校 小学校 5校 ・周遊フライト事業 1回（町内小学校6年生対象）				
		R5年度計画	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討する。 また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施する。 ・空港南側圏担当者会議の開催 ・空港見学・航空講話事業				
		R6年度計画	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討する。 また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施する。 ・空港南側圏担当者会議の開催 ・空港見学・航空講話事業				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	3,364	3,027 空港	3,362	3,025 空港	
		3	300	150 基金	0	0	
		4	300	150 基金	4,518	4,055 空港	
		5	300	150 基金			
		6	300	150 基金			
計	4,564	3,627	7,880	7,080			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標 1	山武郡市広域圏の連携事業の維持【1】	目標 2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	1	1			
		3	1	1			
		4	1	1			
		5	1				
		6	1				
		計	5	3	0 人	0 人	
			進捗率	60.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
		2	外部有識者からの意見	・周遊フライト事業の継続検討	令和4年1月27日実施で関係機関と調整を図っていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み延期とし、再度小学校の日程調整を行った結果、学校行事等により日程が確保できず未実施となった。	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
		今後の方針	事業の継続			
		今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・コロナ収束後は空港を訪れてのリアルイベント実施 ・オンラインとオフラインのハイブリット型イベント検討			
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		新型コロナウイルスの影響により空港見学は実施不可となり、対面形式による航空講和を実施した。
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月7日		
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・周遊フライト実施の検討 ・成田空港に向いての事業実施を検討			
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		/
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		/			
	評価年月日					
	事業の評価					
8	外部有識者からの意見					
	評価会議名称					
	評価年月日					
9	今後の方針		備考			
	今後の方針の理由					
	計画変更の必要性					
		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	千葉大学包括連携事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(6) 多様な連携の強化				
		項目	① 大学との連携				
		掲載ページ	34 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	千葉大学と包括連携協定を結び、地域の課題解決に向けた施策を、官学連携の基に推進する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	JR横芝駅前、町においてロータリー整備やヨリドコロ開設を行い整備を進めているが、通勤利用者や来訪者等の駅利用者にとって、町の玄関口としてより利用しやすく親しみやすい駅となるよう、更なる駅周辺の景観整備を行っていくことを視野に千葉大学との調査研究を行った。 また、町職員の資質向上を目的として、シティマネージャーによるRESAS講座を実施した。 ・調査研究業務委託料 880,000円（一式） ・シティマネージャー報酬 270,000円（9回）				
		R3年度実績	町が面する海は、海水浴客やサーファーなど呼び込む自然資源である。この沿岸部に位置するこどもの国跡地周辺には、マリニピア公園、蓮沼ウォーターガーデン、蓮沼海浜公園など集客性の高い施設があり、観光振興を進める上で高いポテンシャルを有しているとして、町土地利用ビジョンにおいて、こどもの国跡地の有効活用を重点戦略として掲げている。このため、こどもの国跡地の有効活用について、千葉大学が有する知見、技術、情報、資源等を活用しながら、地域における雇用創出及び若者定着に結びつけるための方策を検討調査した。 また、町職員を対象に、シティマネージャーによるSDGs勉強会を開催し、行政課題の解決にあたっては、多様なステークホルダーの連携強化が必要であることを再認識する機会を設けた。 ・調査研究業務委託料 880,000円（一式） ・シティマネージャー報酬 330,000円（11回）				
		R4年度実績	定住人口獲得につなげる第一歩として、若い世代の方に当町を知ってもらい、興味や関心を持って訪れたいと望んでもらえるよう、Youtube横芝光町公式チャンネルで配信するためのタウンプロモーション動画の企画制作を千葉大学生に依頼し、同世代に向けた12本の動画とこれに係る周知用のリーフレットを作成した。 また、動画制作に当たっては、多様な主体の連携による事業推進を目的に、シティマネージャーを中心としたプラットフォームを組織した。 ・調査研究業務委託料 880,000円（一式） ・シティマネージャー報酬 420,000円（14回）				
		R5年度計画	国のデジタル田園都市国家構想を受け、横芝光町におけるDXを活用した生活の質の向上及び持続可能な町づくりの可能性や課題について調査検討を行うことを目的に、横芝光町の現在のDX活用状況や課題の把握、他のDX活用参考事例の整理及び横芝光町へ横芝光町におけるこれからのDXまちづくりメニュー整理とプロジェクト提案等に関し、調査、研究を行う ・調査研究業務委託料 880,000円（一式） ・シティマネージャー報酬 480,000円（16回）				
		R6年度計画	地方創生のために、千葉大学及び町のそれぞれが有する知見、技術、情報、資源等を活用しながら、地域における雇用創出及び若者定着に結びつけるために、必要な取り組みを検討調査する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	880	440 基金	1,150	575 基金	
		3	1,330	665 基金	1,210	605 基金	
		4	1,330	665 基金	1,300	650 基金	
		5	1,360	680 基金			
		6	1,330	665 基金			
		計	6,230	3,115	3,660	1,830	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	包括連携事業による研究数【1件/年】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	1	1			
		3	1	1			
		4	1	1			
		5	1				
		6	1				
		計	5 件	3 件	0 人	0 人	
			進捗率	60.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・シティマネージャーの多様な連携強化への参画	・多様な連携強化に資するよう、勉強会を通して、庁内におけるシティマネージャーと職員との関係構築を図った。	
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		評価年月日	令和3年8月17日		
		2	今後の方針	事業の継続	・シティマネージャーを中心 に総務課、産業課、企画空港課と町民及び町内事業者から構成するプラットフォームにおいて、魅力発信事業を実施した。
		今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		3	評価年月日	令和4年7月22日	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
		事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・各職員が自分事として地方創生を捉えられるよう継続した勉強会等の実施		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・シティマネージャーによるものではないが、千葉県が自治体職員向けに配信したSDGsオンラインセミナーについて周知し、職員の地方創生に関する学習機会を提供した。
		評価年月日	令和4年8月17日		
		今後の方針	事業の継続		
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
		評価年月日	令和5年7月7日		
		事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		6	外部有識者からの意見	・町内事業者からなるプラットフォームの活用 ・研究テーマに合わせ複数年とすることを検討	/
		評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		評価年月日	令和5年8月17日		
		今後の方針	事業の継続		
7	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	/		
計画変更の必要性	無				
評価会議名称					
評価年月日					
8	今後の方針				
今後の方針の理由					
計画変更の必要性					
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	横芝光インターチェンジ周辺開発促進事業		担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する				
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの創生				
		項目	① 横芝光インターチェンジの活用				
		掲載ページ	35 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	交通の拠点でもある横芝光インターチェンジ周辺を有効活用し、賑わいを創出する土地利用を図るため、横芝光町土地利用ビジョンによる土地利用方針に基づき、関係機関との協議を行いながら具体的な土地利用の検討を行う。また、土地利用の実現に向けた都市計画環境の整備を行う。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	都市計画マスタープランの見直しを行うため、令和2年度から2か年の業務委託契約を締結した。令和2年度は、住民アンケート、庁内説明会、都市計画審議会への説明を行った。 ・都市計画マスタープラン見直し業務 委託料8,679,000円/2ヶ年 (1年目：3,443千円、2年目：5,236千円) また、横芝光10周辺の複合拠点としての位置付けを検討するため、関係各課及び県との協議を実施した。				
		R3年度実績	横芝光町都市計画マスタープランを策定した。 ・都市計画マスタープラン見直し業務 委託料8,679,000円/2ヶ年 (1年目：3,443千円、2年目：5,236千円) ・都市計画審議会の開催 2回/年 ・都市計画マスタープラン策定				
		R4年度実績	企画空港課企業誘致班が策定する産業用地整備基本計画と都市計画との調整を行い適切な土地利用の誘導を推進した。				
		R5年度計画	企画空港課企業誘致班が産業用地基本計画に基づく調査業務と都市計画との調整を行い適切な土地利用の誘導を推進する。				
		R6年度計画	企画空港課企業誘致班が実施する農林調整に併せて、用途地域の見直しを行う。 ・都市計画審議会の開催 2回/年 ・用途地域変更決定・告示				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	3,663	0	3,443	0	
		3	5,016	0	5,236	0	
		4			0	0	
		5					
		6	5,000				
計	13,679	0	8,679	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	マスタープラン見直し【1回】	目標2	用途地域見直し【1回】	
			計画	実績	計画	実績	
		2	0.5	0.5		0	
		3	0.5	0.5		0	
		4		0		0	
		5					
		6			1		
		計	1 回	1 回	1 回	0 回	
	進捗率	100.00 %	進捗率	0.00 %			
確認方法	都市計画審議会の開催 (地域の実態調査及び関係機関との調整)		都市計画審議会の開催 (地域の実態調査及び関係機関との調整)				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	横芝光インターチェンジ周辺開発促進事業（企業誘致）			担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する					
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの創生					
		項目	① 横芝光インターチェンジの活用					
		掲載ページ	36 頁	重点への位置づけ	●			
3	事業概要	<p>交通の拠点でもある横芝光インターチェンジ周辺を有効活用し、賑わいを創出する土地利用を図るため、横芝光町土地利用ビジョンによる土地利用方針に基づき、関係機関との協議を行いながら具体的な土地利用の検討を行う。また、土地利用の実現に向けた都市計画環境の整備を行う。</p> <p>※令和2年度は産業課経済班、令和3年度から企画空港課企業誘致班が計画業務を所管することになった。</p>						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<p>成田空港の更なる機能強化や、圏央道と銚子連絡道の開通など恵まれた企業立地ポテンシャルを活かし、新たな産業系用地の確保をはじめとする計画的な土地利用と立地環境整備を検討するため、産業導入拠点形成戦略策定調査を行い、産業立地促進の基本方向を定めた。</p> <p>併せて横芝光インターチェンジ周辺が企業誘致候補地として一番適しているという結果が得られたことから、土地利用計画イメージ図を作成した。</p> <p>委託料3,846,000円</p>					
		R3年度実績	<p>令和2年度に産業課で実施した産業導入拠点形成戦略策定調査結果から、賑わいを創出する土地利用を進めるため地形図作成と権利者調査を行い、地元集落の勉強会とアンケート調査を実施した。また、別途実施した地権者アンケートでは開発について前向きな意向を確認した。</p> <p>・地形図作成、権利調査、勉強会の開催、アンケート調査、地権者アンケート調査 ・委託料11,000,000円、郵送料20,592円</p>					
		R4年度実績	<p>産業用地整備基本計画を策定し、本地区の整備基本方針を定め、土地利用計画等を策定した。また、地権者の勉強会を3回実施し、事業化に向けて合意形成を図った。</p> <p>・委託料25,080,000円</p>					
		R5年度計画	<p>産業用地整備基本計画に基づき、地権者で組織する「まちづくり協議会」の設立と、「事業化検討パートナー」の募集選定を行う。</p> <p>県営土地改良事業からの受益地除外手続きを行う。</p>					
		R6年度計画	<p>まちづくり協議会や事業化検討パートナーと協力し、事業計画を検討する。</p> <p>事業実施に向けた農林協議を進める。</p> <p>土地所有者の合意形成により、準備組合を設立する。</p>					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	3,850	0		3,846	0	
		3	17,534	8,767	基金	11,021	0	
		4	27,500	3,000	県補	25,080	3,000	県補
		5	30,000	0				
		6	42,000	0				
計	120,884	11,767		39,947	3,000			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	土地利用計画の作成(産業)【1式】		目標2	横芝光10周辺への企業誘致【内定1】	
			計画	実績		計画	実績	
		2		0			0	
		3		0			0	
		4		0			0	
		5						
		6	1			1		
		計	1 式	0.0 式		1 社	0 社	
	進捗率	0.00 %		進捗率	0.00 %			
確認方法	道路水路と区画の位置決定				進出企業からの意思表示または覚書等			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・安全性に配慮して開発を進めていただきたい		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	様々な角度から検討し、基本計画を策定した。	
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・これまでの検討事項や収集情報を踏まえた計画の促進		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		様々な角度から検討し、基本計画を策定した。
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)			
	評価年月日	令和5年7月7日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
	外部有識者からの意見	・特になし				
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	様々な角度から検討し、基本計画を策定した。			
	評価年月日	令和5年8月17日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称			評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日					
	事業の評価					
	外部有識者からの意見					
8	評価会議名称			様々な角度から検討し、基本計画を策定した。		
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	観光企業誘致事業	担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する				
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの創生				
		項目	① 横芝光インターチェンジの活用				
		掲載ページ	36 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	<p>交通の拠点でもある横芝光インターチェンジ周辺を有効活用し、賑わいを創出する土地利用を図るため、横芝光町土地利用ビジョンによる土地利用方針に基づき、関係機関との協議を行いながら具体的な土地利用の検討を行う。また、土地利用の実現に向けた都市計画環境の整備を行う。</p> <p>成田空港の機能強化により関係人口の増加を図るため、横芝インターチェンジ周辺に交流拠点を整備し観光企業を誘致する。</p>					
4	事業年度	令和3年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績	<p><新規> 観光企業へPR活動を行った。 民間交通事業者と連携して、東京行き高速バスの運行についてパークアンドバスライド整備に向けて準備を行った。</p>				
		R4年度実績	<p>東京駅行き高速バス停留所整備工事を実施し、9月から運用を開始した。 ・工事請負費30,314,240円、消耗品287,298円、委託料495,000円 観光企業誘致に向けて、PR活動を行った。</p>				
		R5年度計画	<p>観光企業誘致に向けて、事業化検討パートナーを選定する。 IC北側の自動車専用道路区域（B地区）の活用について千葉県と具体的な協議を開始する。 観光企業誘致に向けて、PR活動を行う。</p>				
		R6年度計画	<p>事業化検討パートナーと連携し、観光企業の誘致活動を展開する。 IC北側の自動車専用道路区域（B地区）の活用について千葉県と具体的な協議を進める。</p>				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2					
		3	0		995	0	
		4	30,000	0	31,097	0	
		5	0	0			
		6	0	0			
計	30,000	0	32,092				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	観光企業誘致【1社】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2					
		3		0			
		4		0			
		5					
		6	1				
		計	1 社	0.0 社	0 式	0 式	
進捗率		0.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	共用開始						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	横芝光町農産物販路開拓支援事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する				
		具体的な施策	(2) 特産品を活用したまちの活性化				
		項目	① 農産物販路の開拓				
		掲載ページ	36 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	地域商社設立協議会に対し、販促イベント時のサポート等を行い、横芝光町産農産物のPRと販路の拡大を図る。さらに、特産品を活用した付加価値の高いビジネスモデルを構築し、資源、人材、技術の活用による経済循環を促進する。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	地域商社の設立に向けた活動のサポートを行っていたところであるが、コロナ禍の影響により計画に遅れが生じている。また、従来の販路形態である外食産業部門への販路については、額に減少はあるものの継続して売上をあげる事ができた。新たな取組として挑戦している家庭の食事をターゲットにした新たな販路の開拓は、準備を進めている。				
		R3年度実績	地域商社の設立に向けた活動のサポートを行っていたところであるが、コロナ禍の影響により計画に遅れが生じている。また、新たな取組として挑戦している家庭の食事をターゲットにした販路の開拓についても、引き続き準備を進めている。従来の販路形態である外食産業部門への販路については継続して事業を進めており、コロナ禍の影響はあったものの昨年と比較すると売上を伸ばすことができた。県内で開催されたマルシェにも参加し、徐々ではあるが、活発な活動ができるようになった。				
		R4年度実績	地域商社の設立に向けた活動のサポートを行っており、準備が進められている。また、新たな取組として挑戦している家庭の食事をターゲットにした販路の開拓についても、引き続き準備が進められている。従来の販路形態である外食産業部門への販路については継続して事業を進めており、コロナ禍の影響はあったものの売上が確保できている。今後もマルシェ等への参加するなど、コロナウイルス感染対策の緩和を見据え、本格的な活動の再開を期待している。				
		R5年度計画	従来の販路形態とは別に家庭での食事をターゲットにした新たな販路を開拓・構築し、町内産野菜等生鮮品の流通を目指すとともに、地元特産品を活用した新たなビジネスモデルの構築を図る。 ・特産品活用の検討 ・ビジネスモデルの構築に向けた検討				
		R6年度計画	従来の販路形態とは別に家庭での食事をターゲットにした新たな販路を開拓・構築し、町内産野菜等生鮮品の流通を目指すとともに、地元特産品を活用した新たなビジネスモデルの構築を図る。 ・特産品を活用したビジネスモデルの構築				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5	0				
		6	0				
計	0		0				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	業務の効率化と販路拡大のための受発注システムの確立【1件】	目標2	特産品の裏付加価値化による新たなビジネスモデルの構築【1件】	
			計画	実績	計画	実績	
		2		0		0	
		3		0		0	
		4	1	0		0	
		5					
		6			1		
		計	1 件	0 件	1 件	0 件	
			進捗率	0.00 %	進捗率	0.00 %	
確認方法	地域商社の設立、受注システムの確立		新たなビジネスモデルの運用				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	・ 町内に向けたP R機会の創出検討 ・ 取組みの目的整理 (Buisiness to BuisinessとBuisiness to Consumer)	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	新型コロナウイルス禍の影響を多大に受けて事業が遅延しており、町内P Rを行うなど、事業者ベース、消費者ベースで、もう一度事業の仕切り直しをする。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組目的の整理と実施方法を再検討の上、今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 地域事業者の賛同を得て実施していくよう検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	観光推進事業	担当課	産業課				
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する					
		具体的な施策	(3) 町民と共に進めるまちの活性化					
		項目	① 観光まちづくり協会との連携					
		掲載ページ	37 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会の設立や横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」の設置により、観光事業の推進環境が整えられたことから、更なる観光客の増加を図るため多様な主体と協働のもと町の活性化を推進する。 梅まつり・海水浴場イベント・初日の出イベントなどの観光まちづくり協会主催イベントやGROOVETUBEFES等の町民主体イベントの開催を支援する。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	・観光まちづくり協会事務局と産業課とで事務局会議8回を開催し、運営支援を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けイベントの中止を余儀なくされたが、イベント不開設に伴う会場周辺警備を実施し観光地の安全確保に観光まちづくり協会とともに努めた。 ・観光まちづくり協会が取り組んだ観光ガイドブックSUISUIの発行や、民間企業イベント協力への支援を実施した。					
		R3年度実績	・観光まちづくり協会事務局と産業課とで事務局会議3回を開催し、運営支援を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けイベントの中止を余儀なくされたが、イベント不開設に伴う会場周辺警備を実施し観光地の安全確保に観光まちづくり協会とともに努めた。					
		R4年度実績	・観光まちづくり協会事務局と産業課とで連携しイベント開催協議を行い、運営を支援した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止としたイベントもあったが、感染防止措置などを講じたうえで初日の出、梅まつり等一部イベントを開催した。 ・観光まちづくり協会が主となり取り組んだ観光ガイドブック「SUISUI」の発行や「星空観賞とムーンロード モデルツアー」開催を支援した。					
		R5年度計画	観光まちづくり協会を支援し組織強化を図る。 各種イベントの開催を支援する。 観光まちづくり協会と協力し、新たな観光イベントを企画する。					
		R6年度計画	観光まちづくり協会を支援し組織強化を図る。 各種イベントの開催を支援する。 観光まちづくり協会と協力し、新たな観光イベントを企画する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	9,064	2,710 基金		8,590	2,710 基金	
		3	9,064	2,710 基金		8,361	2,710 基金	
		4	9,064	2,710 基金		9,064	2,710 基金	
		5	9,712	2,710 基金				
		6	9,800	2,710 基金				
計	46,704	13,550		26,015	8,130			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	観光まちづくり協会会員数【150人・社】	目標2	町民主体イベント開催数【5回/年】		
			計画	実績	計画	実績		
		2	130	120	4	2		
		3	135	122	4	0		
		4	140	135	5	3		
		5	145		5			
		6	150		5			
		計	700 人・社	377 人・社	23 回	5 回		
			進捗率	53.86 %	進捗率	21.74 %		
		確認方法	観光まちづくり協会会員名簿			イベント開催実績		

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	コロナ禍においても、対応策を講じながら、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・イベント実施相談窓口の周知 ・コミュニティ育成事業との連携検討 ・祭りを核としたイベント検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	コミュニティ活動育成事業		担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する					
		具体的な施策	(3) 町民と共に進めるまちの活性化					
		項目	② コミュニティ団体の育成					
		掲載ページ	37 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする集団（団体）が行うコミュニティ活動育成事業に要する経費に補助金を交付し、まちづくりに熱意やアイデアを持った団体の育成とコミュニティ事業の活性化を推進する。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする団体が行うコミュニティ活動に対し補助金を交付した。 ・コミュニティ活動育成事業補助金【交付実績】 200,000円×4団体=800,000円 182,000円×1団体=182,000円					
		R3年度実績	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする団体が行うコミュニティ活動に対し補助金を交付した。 ・コミュニティ活動育成事業補助金【交付実績】 166,000円×4団体=664,000円 133,503円×1団体=133,503円					
		R4年度実績	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする団体が行うコミュニティ活動に対し補助金を交付した。 ・コミュニティ活動育成事業補助金【交付実績】 166,000円×6団体=996,000円					
		R5年度計画	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする団体が行うコミュニティ活動に対し補助金を交付する。 ・コミュニティ活動育成事業補助金【予定】 200,000円×5団体=1,000,000円					
		R6年度計画	町内における住民のふれあいを図り、新たな地域連帯意識を醸成するため、町内生活圏を共にする団体が行うコミュニティ活動に対し補助金を交付する。 ・コミュニティ活動育成事業補助金【予定】 200,000円×5団体=1,000,000円					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	1,000	1,000	基金	982	900	基金
		3	1,000	1,000	基金	798	750	基金
		4	1,000	1,000	基金	996	996	基金
		5	1,000	1,000	基金			
		6	1,000	1,000	基金			
計	5,000	5,000		2776	2,646			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	補助金助成件数【5件/年】		目標2		
			計画	実績	計画	実績		
		2	5	5				
		3	5	5				
		4	5	6				
		5	5					
		6	5					
		計	25 件	16 件	0	0		
	進捗率	64.00 %	進捗率	#DIV/0! %				
確認方法	実績報告書に基づく補助金交付件数							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 周知期間を十分に取ること	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 補助金活用団体の活動を町民に知らせる場創出の検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・ 広報R5.3月号にて補助団体の活用実施事業について紹介した。今後も引き続き他の場での事業の周知・紹介を検討していく。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ さらなるPRによる応募団体増を検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
7	評価会議名称				
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	マスコットキャラクター「よこびー」活用事業		担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する					
		具体的な施策	(4) マスコットキャラクターの活用や情報発信による観光振興					
		項目	① マスコットキャラクターの活用					
		掲載ページ	37 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	町のマスコットキャラクター「よこびー」を活用し、町のイメージアップを図るとともに、活性化につながるイベントに積極的に参加し、町の知名度を向上させ観光客の増加を図る。						
4	事業年度	令和2年度～令和6年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント回数が激減したが、テレビ出演やデザイン使用承認等で知名度向上及び町イメージアップ活動を実施した。 ・よこびー活動8回 ・デザイン使用承認14件 ・ゆるキャラグランプリファイナルを通じ全国によこびーと横芝光町をPRした。ご当地部門175位					
		R3年度実績	・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント回数、デザイン使用承認等に増加は見られなかったが、東京五輪・パラリンピックでのホストタウンとして、知名度向上活動を実施した。 ・よこびー活動7回 ・デザイン使用承認14件					
		R4年度実績	・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もありデザイン使用承認等には増加は見られなかったが、開催されたイベントには、しっかりと感染症予防対策を行い積極的な参加を図り、知名度向上活動を実施した。 ・よこびー活動25回 ・デザイン使用承認13件					
		R5年度計画	町のPR・イメージアップにつながるよう大勢の集客が見込まれるイベント等へ積極的に参加し、「よこびー」の知名度の向上を図るとともに、町のPRを行う。キャラクターグッズやイベントグッズの作成を行いPR効果を高める。					
		R6年度計画	町のPR・イメージアップにつながるよう大勢の集客が見込まれるイベント等へ積極的に参加し、「よこびー」の知名度の向上を図るとともに、町のPRを行う。キャラクターグッズやイベントグッズの作成を行いPR効果を高める。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	369	184	基金	359	179	基金
		3	356	178	基金	328	164	基金
		4	137	68	基金	109	23	基金
		5	324	162	基金			
		6	400	200	基金			
		計	1,586	792		796	366	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	イベントへの参加【50回/年】		目標2	グッズ総販売額【20,000千円/累計】	
			計画	実績		計画	実績	
		2	40	8		4,000	1,714	
		3	45	7		4,000	2,776	
		4	50	24		4,000	2,906	
		5	55			4,000		
		6	60			4,000		
		計	250 回	39 回		20,000 千円	7,396 千円	
			進捗率	15.60 %		進捗率	36.98 %	
	確認方法							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・ ネット販売やふるさと納税返礼品の検討 ・ リアルイベントに替えた動画配信の検討	新型コロナウイルス対策を図りながら、イベント（産直市inイオンモール成田、チバザポークトレイン）に参加し、プロモーションを行った。 ふるさと納税返礼品については、ぬいぐるみの発送などを検討している。	
		2	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日		令和3年8月17日
		今後の方針	事業内容の見直し（改善）	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
		今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
		4	外部有識者からの意見	・ 特になし	/
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
		今後の方針の理由	コロナ禍における活用方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
		計画変更の必要性	無		
		5	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和5年7月7日	
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
6	外部有識者からの意見	・ 着ぐるみ貸し出し周知 ・ 着ぐるみやYoutube動画などメディアミックスで活用を検討	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	/			
計画変更の必要性	無				
7	評価会議名称				
	評価年月日				
	事業の評価				
8	外部有識者からの意見		/		
	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
今後の方針の理由		/			
計画変更の必要性					
9	備考		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	観光情報発信事業	担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する				
		具体的な施策	(4) マスコットキャラクターの活用や情報発信による観光振興				
		項目	② SNSを活用した情報発信				
		掲載ページ	37 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	観光と交流を活性化させるため、多様な主体の協働による町の魅力発信を行い、観光入込客数の増加を図る。					
4	事業年度	令和2年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	・観光情報の共有を図り、町ホームページ・Twitterや観光まちづくり協会ホームページ・Facebookを活用した情報発信を実施した。 ・観光まちづくり協会が発行する観光ガイドマップSUISUIの支援をするとともに、同ガイドマップと連携した町観光ポスター300枚を作成した。				
		R3年度実績	・観光情報の共有を図り、町ホームページ・Twitterや観光まちづくり協会ホームページ・Facebook・Instagramを活用した情報発信を実施した。				
		R4年度実績	・観光情報の共有を図り、町ホームページ・Twitterや観光まちづくり協会ホームページ・Facebook・InstagramなどWebを使った発信のほか、観光ガイドマップSUISUIを活用した情報発信等の支援を実施した。				
		R5年度計画	観光まちづくり協会と観光情報の共有を図りながら、連携した情報発信を行う。				
		R6年度計画	観光まちづくり協会と観光情報の共有を図りながら、連携した情報発信を行う。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	249	0	249	0	
		3	0	0	0	0	
		4	0	0	2,382	2,382	国
		5	0	0			
		6	0	0			
計	249	0	2,631	2,382			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	観光入込客数【100,000人/年】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	80,000	45,220			
		3	85,000	50,660			
		4	90,000	61,530			
		5	95,000				
		6	100,000				
		計	450,000 人	157,410 人	0 人	0 人	
	進捗率	34.98 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	観光入込客数調査					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・情報の集約化・統一化 ・アクセスログの解析		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	観光まちづくり協会 と報道情報の予定を共有した。	
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
				計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない		
			外部有識者からの意見	・情報発信効果の計測		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	情報発信の効果検証のためTwitterやInstagramなどSNSごとの集計機能を使い各値の収集を始めた。	
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
				計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月7日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・SNSキャンペーン等の実施の検討		
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める					
		計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
	外部有識者からの意見					
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
		計画変更の必要性				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	ニューツーリズム開発促進事業		担当課	産業課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する			
		具体的な施策	(5) 地域資源を活用した「ひと」の流れの向上			
		項目	① ニューツーリズムの推進			
		掲載ページ	38 頁	重点への位置づけ	—	
3	事業概要	観光企業と連携を図りながら、栗山川、九十九里浜、四季折々の田園風景など、町の地域資源を活用したニューツーリズムを開発促進し、観光活用と情報発信により新たな観光産業に育成する				
4	事業年度	令和2年度～令和6年度				
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンドタウン横芝光町の登録を継続し、オンラインフレンドフェア夏と秋に出展し、観光情報を発信した。 ・栗山川カヤックツアーを12回開催した。 ・2月に山武市、芝山町と連携し、広域化したフレンドエリア九十九里を登録した。 			
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンドエリア九十九里（山武市、芝山町との連携）の登録を継続し、オンラインフレンドフェア夏と秋に出展し、観光情報を発信した。 ・栗山川カヤックツアーを5回開催した。 ・サイクルツーリズム造成に向け成田国際空港株式会社と連携した。 			
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンドエリア九十九里（山武市、芝山町との連携）としてオンラインフレンドフェア夏と春に出展し観光情報を発信した。またフレンドショップ登録事業者を1店舗追加するなど拡充に務めた。 ・フレンドエリア九十九里連絡協議会に成田国際空港を加えたサイクル部会により、サイクルツーリズム事業を実施した（千葉県サイクリング協会とサイクルイベントを2回開催、ジャパンエコトラックへの登録、女性・初心者向けモニターツアー1回開催など）。 ・栗山川カヤックツアーを7回開催した。 			
		R5年度計画	モンベルフレンドエリア（タウン）の登録を継続する。フレンドショップ及びフレンドマーケット登録事業者を拡充し、フレンドフェアに出展する。カヤックツアー実施のための関係機関との調整を行い、ツアーを開催する。広域フレンドエリア内でサイクルツーリズムツアー等のイベントを開催する。			
		R6年度計画	モンベルフレンドエリア（タウン）の登録を継続する。フレンドショップ及びフレンドマーケット登録事業者を拡充し、フレンドフェアに出展する。カヤックツアー実施のための関係機関との調整を行い、ツアーを開催する。広域フレンドエリア内でサイクルツーリズムツアー等のイベントを開催する。			
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)	
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
		2	1,166	583 基金	947	473 基金
		3	2,514	294 基金	2,427	2,303 空港・基金
		4	3,239	249 基金	3,239	2,443 空港・基金
		5	2,498	249 基金		
		6	1,200	249 基金		
計	10,617	1,624	6,613	5,219		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	ツアー開催数【10回/年】	目標2	アウトドアメーカーとの連携【1件】
			計画	実績	計画	実績
		2	5	12	1	1
		3	5	5	1	1
		4	8	10	1	1
		5	8		1	
		6	10		1	
		計	36 回	27 回	5 件	3 件
	進捗率	75.00 %	進捗率	60.00 %		
確認方法	ツアー開催実績		フレンドエリア登録			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	特になし			
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
			評価年月日	令和4年7月22日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・官民連携でのより円滑な事業促進に向けた、会議開催時の方法検討			
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		新たなニューツーリズムの開発に向け3自治体の観光協会会員を含め検討した。
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月7日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・特になし			
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和5年8月17日		
今後の方針	事業の継続					
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める					
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日					
	事業の評価					
外部有識者からの意見						
8	評価会議名称					
	評価年月日					
	今後の方針					
	今後の方針の理由					
計画変更の必要性						
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	栗山川活用高度化事業		担当課	都市建設課 産業課 企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する				
		具体的な施策	(5) 地域資源を活用した「ひと」の流れの向上				
		項目	② 地域資源の活用促進				
		掲載ページ	38 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	令和3年度に実施した「空港機能強化を踏まえた新たな居住者獲得に向けた調査検討業務」において導出したまちづくりの方向性として、『海・川などを活かしたライフスタイルが体感できるまちづくり』を重点テーマとしたことから、町の強みである「栗山川」沿いの回遊性の向上に繋げるため、栗山川沿いの堤防上道路の舗装整備や安全対策、環境維持を行うと共に、親水施設のリニューアル等の検討及び一部着手する。					
4	事業年度	令和4年度～令和6年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績					
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理者である千葉県山武土木事務所と継続的な協議を行い、栗山川沿いの堤防上道路の舗装整備や安全対策、その後の環境維持管理等について調整、「栗山川遊歩道の管理に関する協定書」を締結し互いの役割分担を明確にした。 調整後、山武土木事務所が舗装新設工事を一部実施した。 堤防舗装新設工事 L=3,490m (左岸2,480m・右岸1,010m) 				
		R5年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の調整内容に合わせた整備や維持管理、安全対策等を行う。 河川堤防除草 8m×6km 5,384.5千円/回 年2回見込 交通安全施設設置工事 路面標示(交差点注意・T字路・ドット線) ビックデリネーター設置 2,222千円 山武土木事務所が舗装新設工事を実施予定。 堤防舗装新設工事 L=480m (左岸240m・右岸240m) 海・川の活用に向けた検討会を組織し、活用に向けた検討を行う。 				
		R6年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の調整内容に合わせた整備や維持管理、安全対策等を行う。 堤防除草 8m×6km 5,500千円/回 年2回見込 山武土木事務所が舗装新設工事を実施予定。 堤防舗装新設工事 L=250m (右岸250m) 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2					
		3					
		4			0		
		5	12,991				
		6	11,000				
		計	23,991		0		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	栗山川舗装整備【6km】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2					
		3					
		4	4	3.49			
		5	2				
		6					
		計	6 km	3 km	0 人	0 人	
			進捗率	58.17 %	進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法	現場確認				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
			評価会議名称		
			評価年月日		
		2	今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
			評価会議名称		
		3	評価年月日	令和4年7月22日	
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない	
			外部有識者からの意見	・道路舗装整備だけでなく、並行した環境整備（景観やお手洗い）の検討	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
		4	評価年月日	令和4年8月17日	
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない	
			外部有識者からの意見	・道路舗装整備だけでなく、並行した環境整備（景観やお手洗い）の検討	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
		5	今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
			評価年月日	令和5年7月7日	
		6	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・環境整備（歩行者への注意喚起、距離表示等）の検討 ・観光客向け避難誘導標識設置の検討	
評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
評価年月日	令和5年8月17日				
7	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
	評価年月日	令和5年7月7日			
8	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・環境整備（歩行者への注意喚起、距離表示等）の検討 ・観光客向け避難誘導標識設置の検討			
	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			